



子育て支援センターで行われた親子で遊ぶ会の参加者ら

チャレンジデー

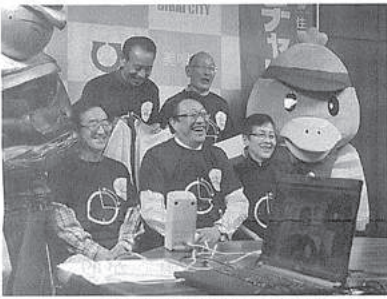
神奈川県湯河原町に勝利

1万1人参加 8ポイント上回る

【美唄】毎年5月の最終水曜日、世界中で住民がスポーツ参加を競い合う「チャレンジデー」。今回は神奈川県湯河原町と対戦した美唄市が、参加率で上回りの初勝利した。人口規模が近い自治体同士が1日に15分以上の運動やスポーツをした人数で参加率を競う。住民参加型のスポーツイベント。美唄市では各体育施設の無料開放やラジオ体操、ウオーキング、貯筋体操などを開催した。この結果、美唄市は1万1人参加し、人口2万3343人に対する参加率42・8%。湯河原町は9045人、人口1万5978人に対し34・8%の参加率となり、美唄市が8ポイント上回った。美唄市は昨年39・8%対39・3%で大治町に敗れており、今回も初勝利を収めた。本来は敗戦団体が勝利団体の市旗や町旗を1週間掲揚するルールだが、初勝利を取った美唄市は、市庁舎、湯河原町の町旗を26日から1週間掲揚することにしたという。

【五十嵐悟】

2016年5月28日 土曜日 プレス空知



5月25日チャレンジデー 「健康づくり目標に」 神奈川県 湯河原町 富田町長とエール交換

【美唄】毎年5月の最終水曜日、世界中で住民らがスポーツ参加を競い合う「チャレンジデー」。昨年の愛知県大治町に続いて、今年には神奈川県湯河原町と対戦する美唄市は16日、高橋幹夫市長と富田幸宏町長がエールを交換。高橋市長は実行委員会として、今年5月の最終水曜日、世界中で住民らがスポーツ参加を競い合う「チャレンジデー」を開催する。美唄市は、今年5月の最終水曜日、世界中で住民らがスポーツ参加を競い合う「チャレンジデー」を開催する。美唄市は、今年5月の最終水曜日、世界中で住民らがスポーツ参加を競い合う「チャレンジデー」を開催する。

委員長とした実行委員のメンバー約30人が街頭で市民に参加を呼び掛けた。湯河原町は稲佐伊豆の温泉観光地人口は2月1日現在、2万5978人。産業は観光業のほか農業で湯河原みかん、キウフルーツ、漁業では干物の名産地。湯治場として、今年には神奈川県湯河原町と対戦する美唄市は16日、高橋幹夫市長と富田幸宏町長がエールを交換。高橋市長は実行委員会として、今年5月の最終水曜日、世界中で住民らがスポーツ参加を競い合う「チャレンジデー」を開催する。美唄市は、今年5月の最終水曜日、世界中で住民らがスポーツ参加を競い合う「チャレンジデー」を開催する。美唄市は、今年5月の最終水曜日、世界中で住民らがスポーツ参加を競い合う「チャレンジデー」を開催する。

2016年5月18日 水曜日 プレス空知

チャレンジデー前に湯河原町と電話交流 【美唄】人口規模が同じ自治体間で、住民のスポーツへの参加率を競うイベント「チャレンジデー」に参加する美唄市が、対戦相手の神奈川県湯河原町とテレビ電話を通じて互いの健康を誓った。イベントは25日に行われ、全国128市町村が参加する。当日は午前0時午後9時に15分以上継続して運動した住民の割合で勝敗を決める。市は市総合体育館や市温水プールなどを無料開放して市民の運動を促す。16日に行われたエール交換で、高橋幹夫市長は「体を動かすことで市民の健康に結びつけたい」と抱負を述べた。



テレビ電話を通して神奈川県湯河原町とエール交換する高橋市長（前列中央）

2016年5月19日 木曜日 北海道新聞

主 催

深川市チャレンジデー実行委員会 (実行委員長 山下貴史)
深川市教育委員会 生涯学習スポーツ課 文化・スポーツ係
〒074-8650 北海道深川市二条17番17号
深川市役所内
TEL : 0164-26-2343 FAX : 0164-22-8212

結 果

人 口 : 21,882 人 北海道深川市 ●
参加者数 : 12,369 人 VS
参加率 : 56.5% 神奈川県開成町 ○
取得メダル : 金

プログラム (太字 : 特に力を力を入れているプログラムと内容)

- ① **チャリンコ族の熱い夜!!! スーパーママチャリレース**(深川市陸上競技場) 880 人
 - ・ 400m の陸上競技場を 25 周(10,000m) をママチャリで激走するチーム対抗戦
- ② **道の駅 de チャレンジ 2016(道の駅ライスランドふかがわ)** 294 人
- ③ **まだまだこれから・・・輝け! 還暦野球**(深川市民球場) 110 人
- ④ **めざせ全日本玉入れタイムトライアル**(深川市総合体育館) 67 人
- ⑤ **The ストレッチ**(深川市内) 60 人

実行委員会の構成団体

スポーツ担当部署 / スポーツ推進委員協議会 / 体育協会 / スポーツ少年団 / 事業所・企業 / 商工会・青年会議所 / 自治会・町内会

メディア

北空知新聞 / 北海道新聞

広報・周知

昨年より報告方法の選択肢を増やす目的で設置した参加報告ボックスを、今年も商店街振興組合やコンビニエンスストア全店の協力をいただき設置箇所の増設をしたり、市独自でポスターの作成、本番まで 2 週間をきった段階からはウェブサイトをほぼ毎日更新するなど広報活動をしてきました。

製 作 物

チラシ 18,620 枚 / ポスター 320 枚 / 大型横断幕 1 枚 / のぼり 60 本 / T シャツ 70 枚 / ポケットティッシュ 6,000 個 / SSF 提供ポスター余白貼付用チラシ 200 枚 / タオル 250 枚

実施効果

今年で 10 回目の挑戦となりましたチャレンジデーは、目標の参加率 60% には届かず、また、4 年連続の勝利とはなりませんでした。7 年連続の金メダル獲得は大きな収穫であります。

運動やスポーツの大切さを認識し、市民こそって体を動かす一

日となり、チャレンジデーへの理解は定着しているものと考えます。

多くの町内会や事業所から取り組みに協力していただき、そこに集うことで、会話や笑いが生まれ、交流が深まったと思います。



道の駅 de チャレンジ



還暦野球



ママチャリレース

悲願の60%超えなるか！15分以上運動したら必ず報告を

きょう10回目の「チャレンジデー」



毎年、好レースが展開される「スーパーママチャリレース」。今年は45チームが出場する＝写真は昨年「チャレンジデー」より＝

人口規模のほぼ同じ自治体、地域同士が住民のスポーツ参加率を競う「チャレンジデー」が二十五日前、全国各地で一斉に始まった。十回目の参加となる深川市は、四連勝と初の参加率六〇%超えを目指し、神奈川県開成町と対戦。実行委主催のイベントへの参加は、もちろん、自宅や学校、職場などでの運動でもOKで、実行委事務局は「十五分以上運動した後は、必ず集計本部へ報告をお願いします」と呼びかける。関連記事4面に。

実行委は「個の玉をかごに入れる今年度、七までのタイムを競う。最高タイムを記録した種目を主催。新種目は、九月に上川市は、深川市管内和寒町で開かれる市総合体育大会の出場権を得る。また、恒例の「ナイトウォーク」(午後六時～七時)は、今年度選定された深川市や近郊の選定チームによる野球大会(まだまだこれから「輝け！選定野球」)や、来場者に軽スポーツを楽しんでもらう「道の駅deチャレンジ」(午前十時～午後四時)もある。さらに、「朝日を見よう！早朝ウォーク」(午前九時)は、目的として設定した市内五地区の十三カ所に報告用紙と回収ボックスを置き、参加者はチャレンジデーののぼりを自印に歩く。「さあ仕事だ！その前にTHREESTRETCH」は、市内各戸に配ったストレッチのやり方を紹介する写真入りのチラシを参考に、出勤前や休憩中などに体を動かしてもらう。

当日は市内のリバーサイド、桜山の両パークゴルフ場を無料開放。町内会やコミュニティ振興会、小地域ネットワークも、ラジオ体操やごみ拾いをしながらのウォーキングなど、地域住民が気軽に参加し、体を動かせる独自の事業を行う。

参加報告は、電話(0800・8000・5162、午前7時～午後9時)、ファックス(0800・8000・5163、午前0時～午後9時)、メール(gakuspo@city.fukagawa.lg.jp)同へ。このほか、市内十八カ所に報告用紙の回収ボックスを設置している。

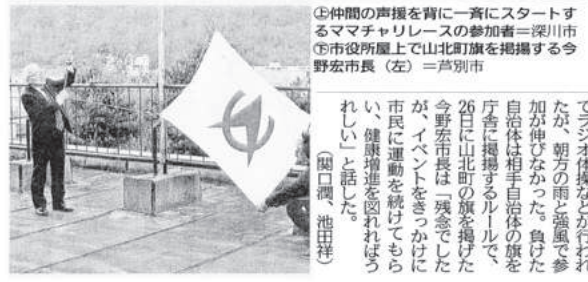
2016年5月25日 水曜日 北空知新聞

運動参加競う「チャレンジデー」



①仲間の声援を背に一斉にスタートするママチャリレースの参加者＝深川市市役所屋上で山北町旗を掲揚する今野宏市長(左)＝芦別市

【深川、芦別】住民のスポーツへの参加率を競う「チャレンジデー」(芦川スポーツ財団主催)が25日午0時～午後9時に15分以上運動した住民の割合で勝敗を競う。深川市は参加率56.5%、昨年から0.1%上昇した。開成町の60.6%に届かなかった。芦別は35.1%で、過去最高の昨年(59.6%)に及ばなかった。市内各所でラジオ体操などが行われたが、朝方の雨と強風で参加が伸びなかった。負けた自治体は相手自治体の旗を庁舎に掲揚するルールで、26日に山北町の旗を掲げた。今野宏市長は「残念だが、イベントをきっかけに市民に運動を続けてもらい、健康増進を図れればうれしい」と話した。



芦別は35.1%で、過去最高の昨年(59.6%)に及ばなかった。市内各所でラジオ体操などが行われたが、朝方の雨と強風で参加が伸びなかった。負けた自治体は相手自治体の旗を庁舎に掲揚するルールで、26日に山北町の旗を掲げた。今野宏市長は「残念だが、イベントをきっかけに市民に運動を続けてもらい、健康増進を図れればうれしい」と話した。

2016年5月27日 金曜日 北海道新聞

主 催

富良野市チャレンジデー実行委員会 (実行委員長 野嶋重克)
 特定非営利活動法人ふらの体育協会
 〒 076-0038 北海道富良野市桂木町 5-10
 TEL : 0167-23-9666 FAX : 0167-23-9667

結 果

人 口 : 22,945 人 北海道富良野市 ○
 参加者数 : 10,192 人 VS
 参加率 : 44.4% 秋田県にかほ市 ●
 取得メダル : 銀

プログラム (太字 : 特に力を力を入れているプログラムと内容)

- ① NO カー通勤デー(個人ウォーキング含む) (市内各自) 2,949 人
 ・徒歩・自転車により通勤・通学し、エコ活動+スポーツ活動としてチャレンジデーに参加してもらいます。
- ②体験プログラム(スポーツセンターでの活動に参加) (スポーツセンター) 146 人
- ③ふらのちびっこ縄跳び大会(各保育所・幼稚園) 108 人
- ④ポスチュアウォーキング(スポーツセンター) 17 人
- ⑤みんなでウォーキング in ふらの(市内 2 ヲ所) 25 人

実行委員会の構成団体

スポーツ担当部署/学校教育担当部署/健康づくり担当部署/
 福祉担当部署/観光担当部署/総務担当部署/スポーツ推進委員協議会/体育協会/スポーツ少年団/スポーツ施設利用団体

メディア

北海道新聞/ラジオふらの/市広報誌

広報・周知

FM ラジオは、市内事業所や観光スポット等でも放送されているので、市民のみではなく観光客に対する参加の呼びかけにもなりました。

製作物

チラシ 7,500 枚/ポスター 200 枚/大型横断幕 1 枚/のぼり 64 本/Tシャツ 40 枚/STAFF ポロシャツ 10 枚/屋外用大型看板) 1 枚

実施効果

6 回目ということで年々、市民の認知度は向上していると考えます。またチャレンジデーをきっかけに(体験プログラムなどに参加して) 継続して運動をするようになった方もたくさんおり、スポーツ・運動活動や健康づくりのきっかけになっていると思います。

担当者から

当日は、雨天だったこともあり屋外施設利用が思ったよりも伸びず残念でした。また、この時期は、様々な業務と重なるため、広報(周知など) 活動がなかなかできなくて大変でしたが、対戦相手として、いろいろな市町村の方と交流できるのが楽しみです。



ちびっこ縄跳び大会



市民ウォーキング



カントリーラインダンス

25日チャレンジデー

スポーツ参加率競う市、雪辱狙う

【富良野】全国の人口規模が似ている自治体同士が住民のスポーツ参加率を競う「チャレンジデー」（笹川スポーツ財団主催）が25日に行われる。6年連続の参加となる富良野市はこれまで1勝4敗とあつて、市実行委（事務局・ふらの体育協会）は多くの住民の参加を呼びかけている。

今年には全国130市町村が参加。午前0時から午後9時までに15分以上運動した住民の割合を競う。

富良野の今年の対戦相手は秋田県にかほ市。富良野は2011年から参加し、14年に参加4回目にして初勝利。昨年は人口に対する参加率が46・2%で、対戦相手の神奈川県大井町にわずかに0・1%差で敗れた。ふらの体育協会の野嶋重克会長は「昨年は惜しかった。今年はより多くの参加を」と話し、雪辱を期している。

ストレッチや散歩でも可。当日はふらの体育協会が指定管理する市スポーツセンターや、周辺の屋外施設などが無料開放される。市実行委は車での通勤をため、自転車などの利用を呼びかけているほか、「みんなでウォーキング」「カントリー＆ライندگانズ体験教室」なども開催する。詳しくは市実行委☎23・9666へ。（横井正浩）

2016年5月21日 土曜日 北海道新聞

2016チャレンジデー

全国一斉開催スポーツイベント
5月25日(水) 午前0時⇔午後9時

笑顔で運動、いい汗流そう、チャレンジデー

チャレンジデーって？

チャレンジデーとは、毎年5月の最終水曜日に市民が身体活動を通して、健康づくりや地域住民の連携強化など生涯スポーツの振興を図ることを目的とした、住民総参加型のスポーツイベントです。

内容は、人口規模がほぼ同じ市町村・地域間で、当日の午前0時から午後9時までの間に、15分以上なんらかの運動・スポーツをした方の参加率を競い合います。

どうやって参加するの？

年齢・性別を問わず、5月25日に市内にいる人であればどなたでも参加できます。自宅、スポーツ施設、河川敷など（場所は市内であればどこでもOK）、とにかく15分以上体を動かして報告すれば参加となります。散歩やストレッチなど自分のできることでOKです。

☎ふらの体育協会 ☎23-9666 ☎23-9667

秋田県にかほ市と対戦！

今年の対戦相手は、秋田県にかほ市（3月末の人口25,818人）に決定しました。参加率50%超を目標に勝利へ向け、みなさんも家庭や学校、職場で運動をしましょう。

スポーツセンターに報告を

当日運動した方は午後9時30分までにスポーツセンターに電話かFAXで報告してください。※報告は1人1回のみ。



企画プログラム

- ① NOカー通勤デー（個人・事業所向け）
エコ+スポーツ活動として、会社や学校への徒歩・自転車通勤の協力をお願いします。
- ② みんなでウォーキングコース（2コース予定）
- ③ ふらのちびっこ縄跳び大会（保育所・幼稚園児対象）
- ④ スポーツセンターで活動しているサークルに体験参加してみよう。
- ⑤ ポスチュアウォーキングなどのプログラムを実施

2016年5月 広報ふらの5月号

主 催

本別町チャレンジデー実行委員会（名誉実行委員長 高橋正夫）

本別町教育委員会 社会教育課

〒 089-3334 北海道中川郡本別町北 2 丁目 4-2

本別町体育館

TEL : 0156-22-2331 FAX : 0156-22-3239

結 果

人 口 : 7,542 人

参加者数 : 4,391 人

参加率 : 58.2%

取得メダル : 銀

北海道本別町 ●

VS

長野県喬木村 ○

プログラム（太字：特に力を力を入れているプログラムと内容）

①おはようラジオ体操（本別町体育館）78 人

②今年もやるぞ !! ディスカン大会（本別町中央公民館）64 人

- ・ 昨年からファイナルイベントとして、ニュースポーツの「ディスクン」大会を開催しています。子どもからお年寄りまで 18 チーム 64 名が集まり、チーム対抗戦を行いました。試合は予選を 3 チームリーグ戦で行い、勝ち上がった 8 チームで抽選をして決勝トーナメントを行い、順位を確定しました。

当日の会場は熱気に包まれ、参加者たちは大きな歓声を上げながら競技に熱中していました。

③ふまねっと・ガンバルーン体験会（本別町地区公民館等 3 ヲ所）39 人

④始めてみよう！太極拳（本別町体育館）21 人

⑤春を感じて自然探索 神居山と諏訪山に登ろう！（神居山）13 人

実行委員会の構成団体

スポーツ担当部署／学校教育担当部署／福祉担当部署／全部署
参加協力／スポーツ推進委員協議会／体育協会／スポーツ少年団／社会福祉協議会／自治会・町内会

メディア

十勝毎日新聞／北海道新聞／OCTV（帯広ケーブルテレビ）

広報・周知

- ・ 自治会連合会、老人クラブ連合会など、住民が集まる集会で PR と取り組み依頼をしました。
- ・ 町の広報紙 5 月号に 4 ページにわたりチャレンジデー特集記事及び月 2 回発行の「かけはし」で「あと〇日」とカウントダウン記事を掲載しました。
- ・ 実行委員会立ち上げからマスコミと連携をとり、取り組みを記事として掲載されました。
- ・ 図書館で対戦相手の紹介コーナーを設置しました。
- ・ 広報紙に PR 用チラシを折り込みました。

製作物

チラシ 4,000 枚／ポスター 150 枚／大型横断幕 1 枚／のぼり

30 本／Tシャツ 60 枚／ポケットティッシュ 7,000 個

実施効果

- ・ 実行委員会には、体育団体のみならず、自治会連合会、社会福祉協議会が加わり、相互の交流ができました。
また、各自治会や福祉団体では、高齢者向けの教室など、独自の事業を開催していただき、多くの町民が気軽に運動に取り組みきっかけづくりができました。
- ・ 体育館などのスポーツ施設を無料開放し、普段は利用していない住民に施設の良さを PR できました。
- ・ 買い物ウォーキングを実施して、主婦層を中心とした住民に「運動習慣」を意識してもらえることができました。

担当者から

今年で 6 年目の取り組みで、体育団体や自治会、福祉団体など実行委員や各種団体など多くの町民の方々にご協力いただきながら無事に開催する事が出来ました。当日は降雨にみまわれ、参加者が伸び悩み、参加率は昨年より 8.9 ポイント下回る 58.2%と残念な結果となりましたが、チャレンジデーは住民の運動習慣化へのきっかけづくりのみならず、自治会内の交流により独居老人の安否確認にも活用されるなど、住民自治の意識向上や活性化等、様々な効果を期待しています。



楽しく体力づくり！ふまねっと・ガンバルーン体験会



自然を探索しながら神居山登山

25日は運動しよう

チャレンジデー
本別実行委が街頭啓発



チャレンジデーの参加を呼び掛ける実行委のメンバー

【本別】住民参加型のスポーツイベント「チャレンジデー」(笹川スポーツ財団など主催)が25日に行われるのを前に、同イベントの実行委員会(大西光夫委員長)のメンバー10人が17日、市街地で町民に参加を呼び掛けた。

同イベントをPRする紺色のそらい(Tシャツ)を着たメンバーは町体育館前に集合し、イベントののぼりを持ち街頭PRに出発。Aコープ道本別店、道の駅ステラ★ほんべつ、フクハ

2016年5月19日 木曜日 十勝毎日新聞

チャレンジデー 運動楽しく

本別などで4町で町民参加



元氣よくラジオ体操を行うチャレンジデー参加者

【本別】人口規模の近い自治体同士が15分以上続けて運動をした住民の割合を競う「チャレンジデー2016」が25日、町内で行われた。本別町は6回目の参加で対戦相手は長野県喬木村。町内では早朝から太極拳や神居山登山など約30のスポーツイベントが行われた。

笹川スポーツ財団などの主催。町体育館では大西光夫実行委員長が「みんなを動かかし、親睦や交流の

2016年5月26日 木曜日 北海道新聞

スポーツに住民一丸

4町でチャレンジデー

【新得・本別・幕別・芽室】自治体間でスポーツの参加率を競う「チャレンジデー2016」が25日、始まった。十勝管内からは昨年と同様、新得、本別、幕別、芽室の4町が参加。各町民がウォーキングや体操、空き缶積み上げなどを



「空き缶積み上げ」に挑戦する参加者。6日午前10時20分、幕別町農業者トレーニングセンターで、折原徹也撮影

さまざまな形で運動に取り組んでいる。

笹川スポーツ財団(小野淳子理事長)の主催。毎年5月の最終水曜日に行われる世界的なイベントで、十勝の4町は新得が秋田

口が同規模の自治体同士が対戦し、午前0時から午後9時までの間、15分以上継続して体を動かした住民の参加率を競う。

十勝の3町は昨年に続く連勝を目指す。

幕別では町農業者トレーニングセンターで飯田晴義町長が開始宣言。「宿毛市も午後まで雨。過去は完敗しよう」と参加者に呼び掛けた。同センターで行われた30分間で空き缶積み上げの競技には、町内企業のチームなどが参加。4人ずつの2チームで参加したアスワン(札内青葉町)の鎌倉智さん(53)は「昨年の3位を上回りたい。けがをしないように頑張りたい」と意気込んだ。

この他、午前中は本別でオープニングイベントのラジオ体操。芽室ではウォーキング、新得では温水プールでの水泳などが行われた。(眞尾敦)

2016年5月25日 水曜日 十勝毎日新聞



降雨のため体育館での開催となったおはようラジオ体操

主 催

幕別町チャレンジデー実行委員会 (実行委員長 飯田晴義)

幕別町教育委員会生涯学習課

〒089-0604 北海道中川郡幕別町錦町98番地

幕別町教育委員会内

TEL : 0155-54-2006 FAX : 0155-54-4714

結 果

人 口 : 27,410 人

参加者数 : 10,253 人

参加率 : 37.4%

取得メダル : 銀

北海道幕別町 ○

VS

高知県宿毛市 ●

プログラム (太字 : 特に力を力を入れているプログラムと内容)

- ①パークゴルフを楽しもう! (町内パークゴルフ場(4ヵ所)) 125人
・パークゴルフ発祥の地ということで幕別町パークゴルフ協会が主体となって町内4ヵ所で開催。
- ②空き缶積み上げ(農業者トレーニングセンター) 91人
- ③まくべつダッシュ王選手権(札内スポーツセンター) 54人
- ④ナイターソフトボール(幕別運動公園ソフトボール場) 41人
- ⑤タスポニーをやってみよう(農業者トレーニングセンター、札内スポーツセンター) 28人

実行委員会の構成団体

スポーツ推進委員協議会 / 体育協会 / 総合型地域スポーツクラブ / 小学校(校長会) / 中学校(校長会) / 事業所・企業 / 商工会・青年会議所 / 高齢者団体・老人クラブ

メディア

十勝毎日新聞

広報・周知

広報掲載(3ヵ月)、新聞チラシ配布(2回)及び公共施設・応援事業所等へのポスター掲載をしたことにより、昨年より多くの人が参加しました。

製作物

チラシ40,000枚 / ポスター250枚 / のぼり50本 / ポケットティッシュ10,000個

実施効果

3回目の実施で初めて勝利しました。年々、参加者数・参加率共に増加したことで着実に住民には浸透し、参加した方からは「健康増進に役立った」、「楽しく取り組んでいた」といった声もきかれ、担当者としては嬉しい限りです。

来年も、勝利に向けて早い時期から取り組みを進め、悲願の参加率51%以上(金)を目指します。



タスポニーをやってみよう



チャレンジデー開始宣言



はじめてのエアロビクス

今年もやります！幕別町チャレンジデー2016

5月25日^⑧の対戦相手は高知県宿毛市

◆「チャレンジデー」って？

5月の最終水曜日に全国で開催されている住民総参加型のスポーツイベント。人口規模がほぼ同じ市町村同士が、午前0時から午後9時までの間に、15分以上運動やスポーツをした住民の「参加率(%)」を競い合います。

◆高知県宿毛市ってどんなまち？

宿毛市は四国の西南端に位置し、温暖な気候と、海・山・川の豊かな自然に囲まれた人口21,570人のまちです。去年の参加率は25.0%でした(幕別町は30.4%)。

応援事業所・団体募集(4月18日^⑧まで)

チャレンジデーの趣旨に賛同し、PRをしていただける事業所・団体を募集しています。協力いただける事業所・団体には、チャレンジデーの「のぼり」を貸し出します。また、イベント会場、新聞折込チラシに、「応援事業所・団体」として掲載します。

▶問い合わせ先／教育委員会生涯学習課 (Tel. 0155-54-2006)

体の歪み解消エクササイズ



空き缶積み上げ
(町内最高記録 3m62cm2mm)



健康スポーツダンス

今年も老若男女が楽しめるスポーツイベントを企画中！参加方法やイベントなどの詳細は、広報5月号や町ホームページでお知らせします。

2016年4月 広報「まくべつ」4月号

高知県宿毛市と16競技

来月25日 幕別のチャレンジデー

【幕別】自治体間でスポーツの参加率を競う「チャレンジデー2016」(5月25日)の実行委(実行委員長・飯田晴義町長)が5日、町役場で開かれた。事務局が今年高知県宿毛市と対戦することや、競技数を前年より3つ増やして16を予定していることを報告した。

菅川スポーツ財団(小野漕子理事長)の主催で、毎年5月の最終水曜日に開催される世界的なイベント。人口が同規模の自治体に対戦相手に、15分以上継続して体を動かした住民の参加率を競う。



初勝利に向けた取り組みを話し合ったチャレンジデー実行委

2016年4月8日 金曜日 十勝毎日新聞

幕別念願の初勝利 芽室は7勝目

チャレンジデー

【幕別・芽室・新得・本別】住民の運動参加率を競う25日の「チャレンジデー」で、十勝から参加した4町のうち幕別と芽室が勝利した。新得と本別は敗れた。(21面に写真特集)

幕別は3回目の参加で念願の初勝利。参加率は昨年を7割上回る37・4%で、22・3%の宿毛市(高知県)に勝利した。飯田晴義町長は「うれしい。管内他町の参加率に追いつけるよう頑張りたい」と話す。

芽室は参加率が微減し62・8%だったが、43・7%の豊後高田市(大分県)を破って7勝目を挙げた。新得は62・4%で、64・6%の八峰町(秋田県)に惜敗。58・2%だった本別も65%の喬木村(長野県)に敗れた。

今回は全国128自治体で292万2834人が参加、平均参加率は54・3%だった。(真尾敦)

2016年5月26日 木曜日 十勝毎日新聞

主 催

芽室町チャレンジデー実行委員会 (実行委員長 宮西義憲)

芽室町教育委員会 社会教育課

〒082-0013 北海道河西郡芽室町東3条3丁目1番地

芽室町中央公民館内

TEL : 0155-62-9730 FAX : 0155-62-7037

結 果

人 口 : 19,023 人

北海道芽室町 ○

参加者数 : 11,940 人

VS

参加率 : 62.8%

大分県豊後高田市 ●

取得メダル : 金

プログラム (太字 : 特に力を力を入れているプログラムと内容)

- ①ラジオ体操(早朝/商店街) (芽室町中央公民館・健康プラザ/町内商店街) 84人/64人
- ②ウォーキング(芽室町内(東めむろ方面)) 29人
- ③ヨガ教室(夜の部) (芽室町中央公民館) 23人
- ④ゲートボール体験(芽室町健康プラザ) 22人
- ⑤ふまねっと体験(芽室町中央公民館) 19人

・チャレンジデーで実施するプログラムは実行委員会の中で検討してきたものなので、いずれも実行委員の思いが込められたプログラムとなっています。今年では数年ぶりに地元商店街に協力を呼び掛け、午後5時から街頭でのラジオ体操を行いました。就業時間終了間際の忙しい時間帯でしたが、商店街の方々や各事業所、役場職員等多くの方々に参加して頂き、今後のイベントのPRにもつながっていくことを期待しています。

実行委員会の構成団体

スポーツ担当部署/スポーツ推進委員協議会/体育協会/スポーツ少年団/社会教育委員/事業所・企業/商工会・青年会議所

メディア

帯広・FMウイング「EVENING TRAX」/十勝毎日新聞

広報・周知

- ・今年からの新たな取り組みとして、チャレンジデーの3日前から広報車を運行し、イベントの周知を行ったほか、当日に地元の2店舗のスーパーに実行委員を配置し、イベントへの参加の呼び掛けと報告用紙の受け付けを行いました。
- ・ラジオ体操の音源を録音したCDを作成し、希望する町内会や各種団体等に対し貸出しを行いました。

製作物

チラシ26,880枚/ポスター150枚/大型横断幕1枚/のぼり10本/Tシャツ40枚/ポケットティッシュ9,000個/BMIメジャー400個

実施効果

8回目のチャレンジデー実施となり、町民の間にも個人単位だ

けではなく、町内会や事業所などの団体でイベントに取り組む例も見られ、徐々にではありますが自主的な活動が行われるようになってきました。次年度以降も事前の周知活動を強化し、チャレンジデーの取組を浸透させていきたいと思いをします。

担当者から

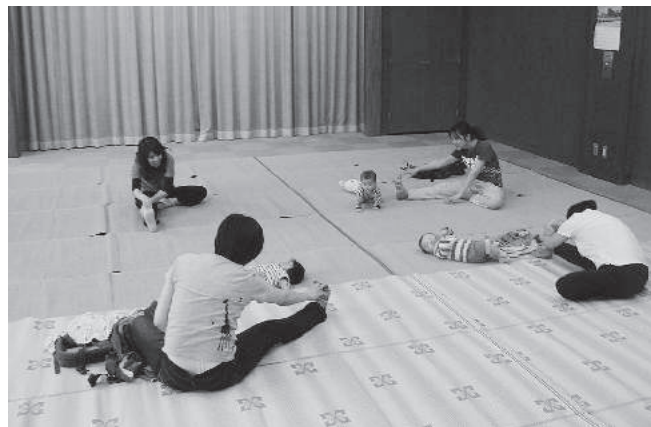
実行委員の積極的な協力もあり、PR活動などを通じて町民の間にも事業が浸透してきているという感触を得られるようになってきました。今後はチャレンジデーを一つのきっかけとし、スポーツの習慣化にいかにつなげていくか、具体的にそのためにはどのような取り組みや工夫が必要かについて考えていきたいと思いをします。



ふまねっと体験



早朝ラジオ体操



ベビーダンス



そろいのTシャツと旗を持って歩き、チャレンジデーをPRした実行委員たち

チャレンジデー！
町民参加をPR
実行委「70%超えを」

【芽室】住民参加型スポーツイベント「チャレンジデー」が、昨日に控え、町民でつづる実行委員会（實田正博運営委員長）は昨日、PRウォークを実施した。そろいのTシャツを着て、町内を歩き、チラシやディスプレイを配ったイベントの参加を呼びかけた。

チャレンジデーは、世界各地で二斉に運動する健康づくりを促すイベント。人口が同じ規模の自治体と運動参加率を競う。

8回目の参加となる今年度は、大分県豊後高田市が対戦相手。同市は参加率が毎年70%を超える。堀本久理（副委員長）は「勝負先に1人でも多くをの町民

にスポーツを通して人の交流を体感してほしい。芽室は70%に達したとほないが、結果的に70%を超えればうれしい」と話す。

町の広報紙や新聞折り込みのチラシ、町内の産物おみやげを通して周知を図っており、ウォークもその一環。この日は朝と夕方2回、集まる地区やJR豊後駅前を巡った。

実行委員は、チャレンジデー当日に体を動かせる機会をつくらせると、ヨガやピラティス、ダンス、テニスを10種類の運動が体験できるイベントを企画。当日、町内で15分以上運動した人には実行委への報告を呼び掛けている。

問い合わせは実行委員会事務局の町教委社会教育課（0155・62・0973）へ。

（取材 堀本久理）

2016年5月20日 金曜日 十勝毎日新聞

5月25日 水曜日！ チャレンジデー

午前0時～午後9時開催！

8回目の参加 大分県 ぶんごたかだし 芽室町 V.S 豊後高田市

今年も、たくさんの方々からご報告頂き、運動やスポーツ参加率をぐんと上げて行きましょう！！

チャレンジデーとは…

毎年5月の最終水曜日に世界中で実施されている住民参加型のスポーツイベントです。人口規模がほぼ同じ自治体同士が町内で15分以上継続して運動やスポーツをした人の「運動参加率」を競い合います。負けた方は相手の町旗を庁舎前に1週間掲げると言う、ユニークなルールによって行われる「町の威風と名譽」をかけた健康づくりイベントです。

参加方法は「運動する⇒報告する」これだけです！！

- 参加者
チャレンジデー当日に、芽室町内にいる人すべてが対象者になります。（運動者、遊学者、観光客なども対象）
- 参加方法
どんな運動でもOKです！ 陸上スポーツ、散歩、ダンス、体操、ストレッチ、リハビリ…
チャレンジデー当日、芽室町内で15分以上継続して体を動かして報告をする。これだけです！
また、実行委員会が企画するイベントに参加する方法もあります。詳細は裏面をご覧ください。

報告・集計方法について

スポーツや運動をした方から、集計センターに電話、FAX、メールで報告いただくか、町内に設置された集計ボックスに報告用紙を投入していただきます。

- 集計センター ■ 集計センターを中央公民館1階のホールに設置します。
- 集計ボックス ■ 各施設に集計ボックスを設置します。設置場所に報告用紙も備えています！
・総合体育館・温水プール・役場第一庁舎・健康プラザ・図書館・あいあい21・上美生出張所
・ダイイチめむろ店・フクハラ芽室店
- 電話・FAX・メール ■
電話：62-0961・62-0962（当日のみ）
FAX：62-0963（当日のみ） メール：taikuukan@memuro.net



当日（5月25日）体育施設無料開放します！
但し、空き状況については、直接各施設にお問い合わせください。団体、グループ等何かが運動、スポーツを行うのも良いですね！！

連絡先：総合体育館 62-1144
温水プール 62-6116
健康プラザ 62-9966

今回は新たに…

例年行っている図書館前、健康プラザでの朝のラジオ体操のほか、17時から本通（本通2丁目、3丁目交差点付近）でラジオ体操を実施します！買い物中の方も近所の方もどなたでもご自由に参加できますので、皆さんと一緒に体を動かしましょう。また、買い物で15分以上体を動かした方もチャレンジデーの対象となりますので、ダイイチさんとフクハラさんに集計ボックスを設置します！実行委員会が声掛けさせていただきますので、報告用紙記入にご協力をお願いします！

チャレンジデー PR用チラシ

主 催

新郷村チャレンジデー実行委員会 (会長 須藤良美)
 新郷村総務課企画グループ
 〒 039-1801 青森県三戸郡新郷村戸来
 TEL : 0178-78-2111 FAX : 0178-78-2118

結 果

人 口 : 2,668 人
 参加者数 : 3,494 人
 参加率 : 131.0%
 取得メダル : 金

青森県新郷村 ○
 VS
 秋田県藤里町 ●

プログラム (太字 : 特に力を力を入れているプログラムと内容)

- ①みんなでラジオ体操(役場前広場) 1,700 人
- ②間木ノ平グラウンド・ゴルフ交流大会(間木ノ平グリーンパーク) 220 人
- ③ナニヤドヤラの祭典(役場前広場) 195 人
 ・「なにやどやら」とは青森県南部から岩手県北部にかけての地域及び秋田県鹿角地方の旧南部藩領内に伝わる盆踊り。新郷村を含む近隣市町村 9 団体の皆様になにやどやらを披露していただきました。
- ④消防団玉落とし(金ヶ沢農村公園川沿い) 130 人
- ⑤溪流釣り大会(五戸川(役場前周辺)) 70 人

【アスリート・著名人など】

青森ワッツ(バスケットボール(bjリーグ))

実行委員会の構成団体

スポーツ担当部署 / スポーツ推進委員協議会 / 体育協会 / スポーツ少年団 / 社会教育委員 / 事業所・企業 / 商工会・青年会議所

メディア

デーリー東北 / 東奥日報 / 河北新報 / 青森テレビ(ATV) / 青森放送(RAB) / 日本放送協会(NHK)

広報・周知

村内はもちろん、村外の団体や自治体へ周知するため、近隣の市町村へチラシやポスターを配布し PR に努めました。また、お年寄りのために村内送迎バスを用意したり、イベントに合わせバスツアーを企画し参加しやすい環境づくりをした結果、村内外ともに参加者の大幅アップにつながりました。

製作物

チラシ 2,000 枚 / ポスター 50 枚 / 大型横断幕 1 枚 / 横断幕(その他) 1 枚 / のぼり 25 本 / Tシャツ 31 枚 / トートバック 2,000 個

実施効果

村と連携協力協定を結んでいる幼児保育学科の学生と保育園児との交流は普段学生が学んでいることを実践する場ともなり教

育的視点からみても意義深いものとなりました。その他、ナニヤドヤラの祭典、高校生による集団行動等、近隣市町村からも大勢参加していただき、村民との交流や新郷村及び村の地場産品等を知っていただく良い機会となりました。

担当者から

今年の村の目標は参加率 120%でした。その目標に向かい村一丸となって挑み、見事目標をクリアしました。これまで以上に一体感、充実感が感じられるチャレンジデーとなりました。その一方で今年は村外からの参加者が多く駐車場を如何に確保するかという課題が残りました。



ナニヤドヤラの祭典



グラウンド・ゴルフ交流大会



青森ワッツバスケットボール教室



日本一連覇を目指す勢を上回る参加者

目指せ 2年連続「日本一」

来月25日「チャレンジデー」

新郷 住民参加型スポーツイベント「チャレンジデー」(5月25日)に参加する新郷村は27日、同村の美郷館で実行委員会総会を開いた。スポーツ団体や村内事業所、住民代表など関係者約70人が集まり、「日本一」2連覇を目指す団結を誓った。(田川しのぶ)

実行委総会関係者ら団結 目標は3201人参加

チャレンジデーは信川に県立八西高の集団行スポーツ財団(東野)主催、金ケ沢競舞を追加。人口がほぼ同じ自治体同士が対戦する形式で、午前0時から午後9時に15分以上運動した参加者の割合を競う。新郷村は12、13年に日本一。14年は2位だったが、昨年、参加3206人、参加率117%で1位に返り咲いた。5度目の今回は、参加3201人、参加率120%が目標。村の人口は2月1日現在2668人、村外から約530人の参加を目指す。種目はラジオ体操やグラウンドゴルフなどのほか、新た

2016年4月29日 金曜日 デーリー東北



ダンスを楽しむ参加者=25日、新郷村役場前

新郷 日本一確定的

チャレンジデー 住民参加率131%

住民参加型スポーツイベント「チャレンジデー2016」が25日、全国108市町村で行われた。青森県南、岩手県北からは新郷村、田子町、軽米町が参加し、住民らが各種目で爽やかな汗を流した。このうち連覇を狙う新郷村は参加率131.0%。一部自治体で最終結果が出ていないが、同日午後10時現在で100%を超える自治体はなく、4度目の日本一は確定的だ。(田川しのぶ)

チャレンジデーは信川も上昇した。スポーツ財団(東野)主催、美郷館前でラジオ体操開催。人口がほぼ同じ自治体同士が対戦した村立戸来体同士が、午前0時から午後9時まで15分以上運動した人数の割合を競い合う。

人口2668人の新郷村は、3033人の秋田県佐賀野田町と対戦。ラジオ体操や八西高の集団行目当てで、田子町は動、青森ワッツ選手のパ参加率75.1%だが、午後10時現在、玄海町の最終人数は未確定。軽米町大勢が参加し、参加率は53.5%で、五城目町の63.7%に敗れた。

2016年5月26日 木曜日 デーリー東北

主催

田子町チャレンジデー実行委員会 (委員長 山本晴美)

田子町教育委員会 教育課

〒039-0201 青森県三戸郡田子町大字田子字柏木田 169

田子町中央公民館

TEL : 0179-20-7070 FAX : 0179-20-7075

結果

人口 : 5,971 人

参加者数 : 4,482 人

参加率 : 75.1%

取得メダル : 金

青森県田子町 ○

VS

佐賀県玄海町 ●

プログラム (太字 : 特に力を力を入れているプログラムと内容)

① オープニングセレモニー(町農業者トレーニングセンター 他) 770 人

② 町長と王子にチャレンジ(町内幼稚園、保育園) 207 人

③ 振分親方と相撲体操&握手会(農業者トレーニングセンターアリーナ) 203 人

- ・ 青森県出身の振分精彦氏(東関部屋付親方、元高見盛関)を講師に招き、親方の相撲を始めたきっかけから、親方となった現在までの相撲に関わる講演をしていただきました。その後、親方の指導による相撲体操と参加者全員との握手会を開催しました。

④ ダンス教室(町中央公民館 ホール) 47 人

⑤ ストライキングエクササイズ(町中央公民館 ホール) 43 人

【アスリート・著名人など】

振分精彦(東関部屋付親方) / ヴァンラーレ八戸 FC(日本フットボールリーグ所属)

実行委員会の構成団体

スポーツ担当部署 / 健康づくり担当部署 / 観光担当部署 / 総務担当部署 / スポーツ推進委員協議会 / 総合型地域スポーツクラブ / 小学校(校長会) / 事業所・企業 / 商工会・青年会議所 / 社会福祉協議会 / 自治会・町内会 / 町教育振興会

メディア

デーリー東北 / 東奥日報 / 田子町ケーブルテレビ / WAKU2 たいむ

広報・周知

チャレンジデー実行委員に関係団体の会長等にも参加していたが、実施に向け協力体制の強化を図りました。また、委員から挙げた周知等に関する意見をまとめ、町民、自治会、事業所などへの参加方法等について段階的に周知を行った結果、個人の参加報告が増え参加率アップにつながりました。

製作物

チラシ 10,000 枚 / ポスター 100 枚 / 大型横断幕 1 枚 / のぼり

100 本 / Tシャツ 60 枚 / ポケットティッシュ 3,000 個 / フェイス
スタオル 250 個 / PR ビデオ(ケーブルテレビ) 1 本

実施効果

今回で 4 回目の参加となりますが、年々町民のみなさんの参加意識が向上し、参加率アップにもつながっています。

取組にも工夫が見られ、体力づくり、健康づくりへの意識もかわりつつあるのではないかと感じています。

様々な分野の運動プログラムの実施など、新しいスポーツの体験や、体力づくりにつながるイベントとなっています。

担当者から

昨年から参加率向上のために、新たに自治会向けのプログラムを実施し、取組内容や参加率高い自治会を表彰しています。取組の参考となるよう、全自治会の参加率(年代別参加率)の集計や、取組についてまとめ、自治会へ報告して、実施にむけバックアップを行ってきました。今回は、ほとんどの自治会から参加報告があり、参加率がアップしていました。自治会活動の一環として実施しているところもあり、まちづくりにもつながっています。



オープニングセレモニー 町民一斉ラジオ体操



園児とリレー競争した「町長と王子にチャレンジ」

玄海町 (佐賀) とエール交換

来月25日 チャレンジデーで対戦

田子
5月25日に全国一斉に行われるチャレンジデー(佐賀県スポーツ財団主催)を前に、参加率を競う田子町と佐賀県玄海町が26日、インターネット電話サービスを使ってエール交換し、両町長が互いの確闘を誓った。
(松本正人)



パソコンを見ながらエール交換する田子町の山本晴美町長。左下のモニターは玄海町の岸本英雄町長

チャレンジデー参加は田子町が4度目、玄海町は初めて。田子町の山本晴美町長と玄海町の岸本英雄町長がパソコンの画面を見ながら約5分間会話をした。

山本町長は「チャレンジデーを通じて、なかなか出合えない町と縁が生まれることをうれしく思う。何か勝利を目指し」と意気込みを見せた。岸本町長は「こちらはスポーツが盛んなので町民挙げて臨みたい。これが終わったら田子にお邪魔して交流したい」と笑顔で話した。

ネット電話で両町長 意気込み

2016年4月30日 土曜日 デーリー東北

村民一丸 新郷村が連覇

田子初勝利、藤崎は惜敗

チャレンジデー

25日に行われた住民参加型のスポーツイベント「チャレンジデー」(佐賀県スポーツ財団主催)で、新郷村の参加率が全国トップ自治体中、最高の131.0%となり、同村が2年連続4回目の「チャレンジデー大賞」に輝いた。村は26日、役場前で報告会を開き、職員や住民ら約50人が「日本一」を喜び合った。
(本紙取材班)



チャレンジデーの参加率日本一を喜ぶ新郷村関係者

チャレンジデーは、15分以上継続して運動した人の割合を、人口(2月1日現在)の規模が似た自治体同士で競うイベントで、本県からは3町村が参加した。新郷村(人口2608人)は5年連続で参加し、今年度は秋田県藤里町(同3538人)と対戦。村外も含め3494人が参加した結

果、前年を14ポイント上回る参加率で87.2%の藤里町を下した。新郷村のほかに100%を超えた自治体はなかった。

報告会では、村長や役員、会長の須藤長村長が「日本一になったのは、村民一丸となった取り組みが温かく応援してくれた村外の方々の協力のおかげ」と話した。

これからも健康で明るい元気な村づくりを目指して頑張っていく」とあいさつ。この後、対戦相手の藤崎をなぞ、村役場屋上に藤里町の町旗を掲げた。

藤崎町(人口1万5452人)は参加率50.7%で、対戦相手の神奈川県大井町(同1万7280人)の57.6%に及ばなかった。町生涯学習課の森脇課長は「敗れはしたが、町民がこれからも定期的に体を動かして健康づくりを意識してくれば」と話した。

田子町(人口5971人)は参加率75.1%で、佐賀県玄海町(同6025人)の69.4%を上回り、4回目の挑戦で念願の初勝利を飾った。山本晴美町長は目標としていた参加率70%を大きく上回ったのは、町民が心一つに頑張ったということ。初勝利を大変うれしく思った。

2016年5月27日 金曜日 東奥日報

まち一体 爽やかな汗

チャレンジデー2016

同じ人口規模の自治体同士で、住民のスポーツ参加率を競うイベント「チャレンジデー2016」(佐賀県スポーツ財団主催)が26日、全国1万8千町村で実施された。青森県南、岩手県北地方からは新郷村、田子町、軽米町の町村が参加し、子どもから若年層まで幅広い年代の人々が体を動かして、健康づくりに取り組んだ。

各町村がラジオ体操ウォークなどを、さまざまな運動が企画された。

新郷村には近隣市町村からも団体、学校が応援に駆け付け、参加率は131.0%に、4度目の日本一「チャレンジデー大賞」を獲得した。青森県立八戸西高等学校の集団行動や、青森ワッツの北山由樹選手(おいらせ町出身)と山内力也選手(輪田町出身)のバスケットボール教室などを盛りあげた。役場前に出店もあり、村一体で盛り上がり、4回目の挑戦の田子町は、大相撲の振分親方(小結高見盛、板柳町出身)を招いた相撲体験教室が行われ、参加率は75.1%。対戦相手の佐賀県玄海町の69.4%が確定し、初勝利を挙げた。

軽米町はダンスや輪投げなど住民が汗を流した。

(川井のぶ、松本正人、小嶋雅文)

2016年5月27日 金曜日 デーリー東北



振分親方と相撲体験 & 握手会

主催

藤崎町チャレンジデー実行委員会 (実行委員長 平田博幸)
藤崎町教育委員会 生涯学習課

〒038-1214 青森県南津軽郡藤崎町大字常盤字三西田 35 番地 1
常盤生涯学習文化会館

TEL : 0172-65-3100 FAX : 0172-65-3128

結果

人口 : 15,452 人 青森県藤崎町 ●
参加者数 : 7,840 人 VS
参加率 : 50.7% 神奈川県大井町 ○
取得メダル : 銀

プログラム (太字 : 特に力を力を入れているプログラムと内容)

- ①グラウンド・ゴルフ大会(ライフコート平川) 200 人
 - ②藤崎チャレンジカップ(スポーツプラザ藤崎) 110 人
 - ③中央開会式(生き生きけんこう体操・初心者向けヨガ) (スポーツプラザ藤崎) 80 人
 - ④チャレンジイベント(ウォーキング・ベアなわとび) (スポーツプラザ藤崎・農業者トレーニングセンター) 80 人
 - ・ウォーキングの部 体育館内(1周 120メートル)を15分間歩いて、その距離を競う競技イベントです。上位5名までを表彰します。
 - ・ベアなわとびの部 2人1組となって、お互いの連続してなわとびを跳んだ最高回数の合計を競う競技イベントです。15分間何度でもチャレンジできます。上位5組までを表彰します。
 - ⑤ミニバスケットボール教室(藤崎小学校体育館) 65 人
- 【アスリート・著名人など】
青森ワッツ(B.LEAGUE 2部所属)

実行委員会の構成団体

スポーツ担当部署/学校教育担当部署/健康づくり担当部署/
福祉担当部署/観光担当部署/総務担当部署/農政・建設・住
民担当部署/スポーツ推進委員協議会/体育協会/スポーツ少
年団/総合型地域スポーツクラブ/幼稚園・保育園/小学校(校
長会)/中学校(校長会)/高等学校/事業所・企業/商工会・
青年会議所/社会福祉協議会/PTA 連合会/自治会・町内会/
各種農業団体

メディア

陸奥新報/東奥日報/津軽新報

広報・周知

チャレンジデー実行委員を通じての関係団体への周知依頼、住
民への周知及び参加報告のとりまとめをお願いする町内会長を参
集しての説明会を開催したほか、町広報誌にチャレンジデーの記
事を掲載し、町内全世帯にチラシを配布して参加の呼びかけを行
いました。

製作物

チラシ7,000枚/ポスター200枚/大型横断幕1枚/横断幕(そ
の他)1枚/のぼり100本/懸垂幕1枚/Tシャツ180枚/ポ
ケットティッシュ1,000個/藤崎チャレンジカップトロフィー9個
/タオル1,000枚

実施効果

今回で9回目のチャレンジデー実施となりましたが、昨年より
参加率を落とす結果となりました。

しかし、健康寿命を延ばすために日頃から運動やスポーツを行
なって、健康・体力づくりの意識を高めてもらうきっかけづくりと
なりました。

これからも「毎日がチャレンジデー」をモットーに健康・体力づ
くりをPRしていきたいと思っています。

担当者から

参加報告について、町内会の協力をいただいておりますが、一方
で平日の農繁期ということもあり、参加報告書の回収が負担であ
るという意見が聞かれました。

来年実施の際には、参加報告方法を見直す必要があると思っ
ています。



神奈川県大井町長とエール交換



開会式はみんなでヨガ

大井町(神奈)相手に

藤崎町 5月チャレンジデー

全面規模で行われる健康づくりイベント「チャレンジデー」に藤崎町が9回目の挑戦をするため17日、町文化センターで実行委員会が作られた。委員長は平田博幸町長。今年5月25日、神奈川県大井町を対戦相手に運動やスポーツをした人の参加者を競う。

藤崎町は平成20年から参加。通算成績は震災で中止の1回を除き3勝4敗。昨年は神奈川県川島開成町を相手に参加率58・7%（参加者9156人）で勝利した。

「チャレンジデー」は笹川スポーツ財団が提唱して全国規模で行われる運動、スポーツイベント。類似規模の



チャレンジデー実行委員会の組織会。あいさつは平田町長

委員長に相馬勝治体育協会会長、赤石久男町内会連合会長、鎌田兼視商工会会長、副町長（4月1日就任予定）を選出した。

また、今年の実施要項、イベント内容などを承認した。当日午前6時半からスポーツプラザ藤崎で中央開会式を行い、町内各地でスポーツイベントを行うとしている。

ラジオ体操やチャレンジカップなどのほか、新たに史跡探訪ウォーキング、プロ選手を招いてのミニバスケットボール教室を予定している。

平田町長は「全ての団体が関わって、9回目のチャレンジデーの勝利に向かって頑張っていきたい」と期待した。

2016年3月23日 水曜日 津軽新報

住民健康づくりに汗

チャレンジ 自治体対決は敗北

藤崎町は25日、自治体を動かすことを主体としたスポーツの参りアした。町内各地でラジオ体操を加えてのチャレンジデー「チャレンジデー」(笹川スポーツ財団主催、史跡を巡るウォーキング、縄跳びなどのイベント)に参加した。町民を動かすイベントが行われ、町民が各人へのベースで体力づくりも対戦相手の大井町(神奈川県)に努めた。その結果、藤崎町の参加率は50・7%となり、大井町の57・6%を下回った。

また、今回で通算成績は3勝5敗となった。

結果について同町の「一人でも多くの人に自分の健康づくりを進めてほしい」とあいさつ。委員会は「参加率は昨年つした。この後、開会度を下回ったが、早急、町オリジナルのきた。新規のものを含めた各イベントを盛り込んだ各イベントを盛り込んでもらえた点は良かった」とした。

(渋谷 綾二)



チャレンジデーの中央開会式会場で、ヨガに取り組む藤崎町民

2016年5月27日 木曜日 陸奥新報

汗かいてさっぱり

藤崎町 チャレンジデー 挑戦

藤崎町の健康づくりイベント「チャレンジデー」が25日、町内各地で行われ、大井町(神奈川県)を相手に15分以上の運動やスポーツに挑戦した。類似規模の市町村と対戦形式で参加者を競う。

藤崎町は今回、神奈川県大井町を対戦相手に9回目の挑戦、町内

29カ所のラジオ体操から始まり、スポーツプラザ藤崎でのチャレンジウォーキング、農業者レーニンズモーターでのヘア縄跳びなどの種目に臨んだ。

チャレンジウォーキングでは、健康チエックを終えた町民が次々に15分間のウォーキングに挑戦した。アリーナ

の1周1200歩を歩くもので、ゼッケンをつけた参加者が5人1組でスタート。時間内に10周から13周している。歩き終えた小林明美さん(73)は毎日少しづつ歩いている。今回は体育館の中なので景色が見えず退屈したが、汗をかいてさっぱりしたと参加記念の卵をもらって喜んでいました。

この日はほかに藤崎、常盤町老人福祉センターで2つのことを同時に開催。史跡探訪場所を訪ねる史跡探訪ウォーキングなどが午後9時まで行われて、それぞれ健康づくりの汗を流した。



15分間歩き続けるチャレンジウォーク



チャレンジの前に健康チェックをする町民



さあみんなで踊ろう！新藤崎音頭

2016年5月29日 日曜日 津軽新報

主 催

奥州市チャレンジデー実行委員会 (会長 小沢昌記)
奥州市協働まちづくり部 生涯学習スポーツ課 スポーツ振興係
〒023-1192 岩手県奥州市江刺区大通り 1-8
江刺総合支所
TEL : 0197-35-2111 FAX : 0197-35-7466

結 果

人 口 : 121,188 人 岩手県奥州市 ●
参加者数 : 82,280 人 VS
参加率 : 67.9% 長崎県大村市 ○
取得メダル : 金

プログラム (太字 : 特に力を力を入れているプログラムと内容)

- ①ふうせん送りでチャレンジ(各地区・各事業所等) 1,930 人
 - ・奥州市チャレンジデー共通イベントとして実施している「ふうせん送りでチャレンジ」です。10人1組でタイムを競い合います。(地区対抗・事業所対抗の2部門)
- ②開始式(各区) 800 人
- ③おうしゅうチャレンジカップ(各小・中学校) 156 チーム
- ④胆沢区いきいきシニアスポーツ大会(胆沢区陸上競技場) 300 人
- ⑤買い物ウォーキング(市内 4 店舗)

実行委員会の構成団体

スポーツ担当部署／学校教育担当部署／健康づくり担当部署／福祉担当部署／観光担当部署／総務担当部署／スポーツ推進委員協議会／体育協会／スポーツ少年団／中学校(校長会)／高等学校／商工会・青年会議所／社会福祉協議会／PTA 連合会／自治会・町内会／高齢者団体・老人クラブ／婦人会／農業協同組合

メディア

奥州エフエム放送／胆江日日新聞／岩手日日新聞

広報・周知

コミュニティエフエムに出演しての PR や、SNS を使って情報の拡散、広報車での広報活動、各種団体の会議にて PR を行うことによって、多くの市民に周知することができました。

製作物

チラシ 45,000 枚／ポスター 300 枚／横断幕(その他) 26 枚／のぼり 100 本／懸垂幕 2 枚／Tシャツ 200 枚／ポケットティッシュ 7,500 個／日付シート 28 枚

実施効果

- ・参加率が 67.9%と昨年より 0.5%下がってしまいましたが、奥州市共通イベントの参加が増えた事や各種団体等が自主的にイベントを計画している事から、チャレンジデーが定着してきている様子が伺えました。

- ・「ふうせん送りでチャレンジ」を実施することで、地域住民・職場等での交流の場を提供し、連帯感を高めることができました。
- ・チャレンジデーの PR と併せて、「2016 いわて国体」の周知を図ることができました。



江刺区開始式



イオンでチャレンジ



胆沢区いきいきシニアスポーツ大会

今年も接戦？チャレンジデー

自治体が住民のスポーツ参加率を競うイベント「チャレンジデー」開催を25日に控え、小沢昌記市長は17日、対戦相手の長崎県大村市の園田裕史市長とインターネット回線を通じてビデオ対話でエール交換した。両市長はスポーツを通じた市民の一体感醸成や健康づくりを強調し、イベントをきっかけとする今後の交流に期待した。

昨年の住民参加率
奥州市 68.4% 大村市(長崎) 65.6%

両首長がエール交換

25日本番



九州の地震にも触れ、「私も東日本大震災では多くの地域から援助を頂いた。九州の方々が心を痛

めていることを思い、できる限りの応援をしたい」とエールを送った。人口約9万4000人

の大村市長は長崎県中央部に位置し、波静かな大村湾に抱かれた風光明媚なまち。城下町として多く

長崎県大村市の園田市長とインターネット回線を通じてエール交換する小沢市長

の史跡があり、空の玄関口として長崎空港がある。39歳の若さの園田市長は「スポーツを通して市民の交流を育み、健康寿

命の延伸につなげたい。チャレンジデーを通して九州を盛り上げたい」と意気込みを披露。大村市には競艇場、奥州市には競馬場があることにも触れ、スタートダッシュの競艇が、追い込みの競馬かと市民の方々にお伝えしたところ、盛り上がりを見せている」と話し、和気あいあいとした対話となった。

チャレンジデーは、人口規模が同程度の自治体や地域同士が15分以上続けて運動に取り組んだ住民の参加率を競う。今年8回目(通算成績3勝4敗)の参加となる奥州市は参加率70%を目標に3連勝を目指す。9回目の参加となる大村市の昨年の参加率は65.6%で、68.4%で勝利した奥州市との差はわずか1.8%。

2016年5月18日 水曜日
 胆江日日新聞

大村(長崎)に1ポイント及ばず

チャレンジデー奥州、参加率67.9%

自治体同士が運動した「めらい」と語った。9時から市役所本庁ロビー市民の参加率を競い合う。通算8回目の参加となった奥州市(人口12万1千人)が参加し、参加率は昨年88.8%は参加率67.9%年の68.4%と比べ、わずかな差で敗れたが互いの健闘をたたえたい」と結果を報告した上で、「10月の奥州対戦結果報告会では、市民の会の長野耕定会長ら関係者約40人が出席して午前



大村、奥州両市の健闘をたたえたチャレンジデーの対戦結果報告会

25日に行われたチャレンジデーの奥州各区の参加率は、水沢が65.8% (前年61.8%)、江刺が74.0% (同77.8%)、前沢が72.7% (同73.8%)、胆沢が59.1% (同68.8%)、衣川が71.0% (同70.7%)。市生涯学習スポーツ課では「朝方の天候が悪かったことや、胆沢区の参加率が影響した」とみている。奥州の通算成績は3勝5敗となった。

2016年5月27日 金曜日 岩手日日新聞

主催

大槌町チャレンジデー実行委員会 (実行委員長 平野公三)

大槌町教育委員会 生涯学習課

〒028-1121 岩手県上閉伊郡大槌町小槌第32地割126

大槌町中央公民館

TEL : 0193-42-3030 FAX : 0193-42-3031

結果

人口 : 12,394人

岩手県大槌町 ●

参加者数 : 6,693人

VS

参加率 : 54.0%

北海道東神楽町 ○

取得メダル : 銀

プログラム (太字 : 特に力を力を入れているプログラムと内容)

①全町民ラジオ体操(全町内)

- ・全町民ラジオ体操は、10時と15時にラジオ体操を放送し、チャレンジデー実施日の周知と運動のきっかけづくりになっている。

②ふれあい交流会(役場多目的会議室) 47人

③城山ウォーキング(城山公園) 30人

実行委員会の構成団体

スポーツ担当部署／学校教育担当部署／健康づくり担当部署／福祉担当部署／スポーツ推進委員協議会／体育協会／スポーツ少年団／幼稚園・保育園／小学校(校長会)／中学校(校長会)／高等学校／事業所・企業／商工会／青年会議所／社会福祉協議会／自治会・町内会／高齢者団体・老人クラブ／婦人会

メディア

読売新聞／朝日新聞／岩手日報

広報・周知

- ・事業所にチラシを持参し参加を依頼することは、参加報告書の回収状況から見ても効果があると感じていました。
- ・前日と当日の町内放送が最も有効な広報手段でした。

製作物

チラシ10,000枚／ポスター200枚／大型横断幕2枚／のぼり20本／Tシャツ40枚／タオル800個

実施効果

- ・チャレンジデーに併せた自主的な取り組みが、自治会、事業所や仮設団地などで実施されています。(具体的には、地域内を早朝にウォーキングをしながらごみ拾いをしたり、職場内でのレクリエーション行事などを実施)
- ・希望郷「いわて国体」「いわて大会」のPRの機会となりました。

担当者から

- ・住民の参加状況により仮設団地から一般住宅への移転が徐々に進み始めていることが確認できました。今後中心部の町方住宅の整備が進む中で、チャレンジデーが、コミュニティ再構築のための「きっかけ」行事として、また元気(健康)なまちづくりの「目標」のイベントになればよいと思います。



職場交流レクリエーション



ミニ運動会



城山公園ウォーキング

仮設の住民ら、グラウンドゴルフ



グラウンドゴルフでチャレンジデーに参加する金沢仮設団地の入居者ら＝大槌町

チャレンジデー 大槌で

毎年5月の最終水曜日に世界中で行われるスポーツイベント「チャレンジデー」が25日にあり、今年度で集約される大槌町山間部の金沢仮設団地（4世帯）では入居者ら10人がグラウンドゴルフを楽しんだ。人口規模がほぼ同じ自治体同士が15分以上運動した住民の参加率を競うもので、町の相手は北海道東神楽町。本来は熊本県山都町だったが、熊本地震のため不参加となった。

金沢仮設では震災後、入居者が毎年必ず参加してきたという。町内の自宅が全壊し、仮設住宅で4年以上暮らしている三浦盛さん（80）は、市街地に自宅を再建する予定という。「みんなと話して体を動かしていい一日だった。市街地から遠かったが、住めば良かった」と話した。

（星乃勇介）

2016年5月26日 木曜日 朝日新聞



2人1組になりストレッチをする参加者



大玉転がしに挑戦する参加者

大玉転がし競技 呼吸合わせ挑戦

大槌町は25日、チャレンジデー2016（実行委主催）に参加した。今回で11回目となり、人口規模がほぼ同じ北海道東神楽町と対戦。住民のスポーツ参加率55%を目指し、各地域の住民が爽やかな汗を流した。

同町大槌の阿部信一郎さん（75）は「紙飛行機飛ばしを初めてやったが、子どもの頃に買ったような気分だった。来年もぜひ参加したい」と楽しんだ様子。

町は当初、熊本県山都町との対戦を予定していたが、同町は地震の影響で不参加となった。大槌町の昨年までの対戦成績は7勝3敗。

2016年5月26日 木曜日 岩手日報

チャレンジデー 6市町参加

人口が同規模の自治体同士が住民のスポーツ参加率を競う「チャレンジデー」が25日、全国各地で行われた。全国128自治体が参加し、県内では北上市、奥州市、陸前高田市、軽米町、大槌町役場の多目的会館（旧大槌小体育館）で、住民約40人が集まり、大玉転がしやフオークダンスなどに汗を流した。参加した同町吉里吉里の藤原ミネ子さん（78）は「みんなが体を動かす人たちの思いながら取り組みました」と話していた。

参加した県内6市町のうち、北上市と陸前高田市、奥州市が相手自治体に勝利した。



町のみんなで体動かす

2016年5月27日 金曜日 読売新聞

主 催

軽米町チャレンジデー実行委員会 (会長 山本賢一)
 軽米町教育委員会 生涯学習グループ
 〒 028-6302 岩手県九戸郡軽米町大字軽米 10-85
 軽米町役場 3 階 教育委員会事務局
 TEL : 0195-46-4744 FAX : 0195-46-3050

結 果

人 口 : 9,757 人 岩手県軽米町 ●
 参加者数 : 5,223 人 VS
 参加率 : 53.5% 秋田県五城目町 ○
 取得メダル : 銀

プログラム (太字 : 特に力を力を入れているプログラムと内容)

- ① 転倒予防セミナー&ウォーキング(軽米町農村環境改善センター雪谷川河川敷周辺コース) 127 人
- ② ゲートボール大会(軽米町営ゲートボール場) 107 人
- ③ みんなでラジオ体操(オープニングイベント) (軽米町役場正面玄関前駐車場) 85 人
 - ・ 朝 6 時に役場庁舎前に町民の皆さんに集まっていただき、ラジオ体操をすることで、1 日を気持ちよく始めてもらうとともに、チャレンジデーに対する意識を高めました。また、町のゆるキャラを登場させて盛り上げることで、オープニングイベントとしての役割を果たしました。
- ④ ダンスパーティー(軽米町農村環境改善センター) 64 人
- ⑤ パークゴルフ大会(軽米町営パークゴルフ場) 60 人

実行委員会の構成団体

スポーツ担当部署 / 学校教育担当部署 / 健康づくり担当部署 / 福祉担当部署 / スポーツ推進委員協議会 / 体育協会 / スポーツ少年団 / 小学校(校長会) / 中学校(校長会) / 高等学校 / 商工会・青年会議所 / 社会福祉協議会 / 青少年健全育成組織 / PTA 連合会 / 自治会・町内会 / 高齢者団体・老人クラブ / 消防団

メディア

岩手日報

広報・周知

町内の掲示版・商店等へのポスターの掲示、参加報告書付チラシの全戸配布、広報紙の活用、学校や事業所への参加依頼等、従来行ってきた方法に加え、町のケーブルテレビ・全町無線放送での事前告知放送、着ぐるみを活用しての町内各地での参加呼びかけ、町内を広報車で周回する等、「耳に残る広報」を心掛けた結果、僅かながらも昨年の参加率を上回れたことは成果の現れであると捉えています。

製作物

チラシ 4,500 枚 / ポスター 120 枚 / のぼり 30 本 / T シャツ 40 枚 / ポケットティッシュ 5,500 個

実施効果

当町のチャレンジデーへの実施は今回で 11 回目となり、学校や企業の積極的なイベント参加や、各競技団体の自主的なイベントの開催が定着しており、町民の運動・健康に対する意識が高まっていると思われます。今年は過去に参加報告をした実績のない企業・団体等にも積極的に呼びかけを行い、今までチャレンジデーをあまり意識していなかった方々にも、運動をするきっかけづくりができたのではないかと思います。

担当者から

チャレンジデーをきっかけとして、多くの方々が運動・スポーツを普段の生活に取り入れることができるように、様々なイベント等を実施した結果、多くの方が参加し楽しい一日を過ごすことができました。今年からの新しい試みも町民の皆さんから好評で、僅かながら参加率が上昇したことは成果ですが、期待していたよりも個人参加者の報告数が伸びなかったことが来年以降への課題となりました。



親子で仲良く体操



川沿いをみんなでウォーキング

チャレンジデー

仕事帰り気軽に 軽スポーツ満喫

軽米

軽米町は25日、チャレン

ジデー2016（同実行委主催）に参加し、秋田県五城目町と対戦した。

スポーツの住民参加率60%を目標に、子どもから高齢者まで多くの町民がさまざまな運動に汗を流した。

同町軽米の物産交流館



軽スポーツの輪投げを楽しむ子どもたち

には夕方、仕事や買い物帰りの家族連れらが続々訪れ、軽スポーツの輪投げを満喫した。古里宏斗君（軽米小2年）は「みんなで運動するのは楽しい。これからもいろんなスポーツに挑戦したい」と笑顔を見せた。

同町は11回目のチャレンジデー参加。朝から夜まで、親子体操やダンスパーティー、雪谷川周辺のウォーキングなどが行われた。

2016年5月26日 木曜日 岩手日報



軽スポーツで楽しく運動

主 催

北上市チャレンジデー実行委員会 (会長 高橋敏彦)
まちづくり部スポーツ推進課
〒024-8502 岩手県北上市上江釣子 17-201-2
TEL : 0197-72-8270 FAX : 0197-77-2120

結 果

人 口 : 93,660 人 岩手県北上市 ○
参加者数 : 53,878 人 VS
参加率 : 57.5% 沖縄県石垣市 ●
取得メダル : 金

プログラム (太字 : 特に力を力を入れているプログラムと内容)

- ①「わんこダンスキャラバン」(いわて国体 PR ダンス)(江釣子ショッピングセンター PAL ほか 2 ヲ所) 8,536 人
- ②いわて国体炬火点火式・市内一斉ラジオ体操(樺山歴史の広場ほか市内各地域) 8,397 人
・チャレンジデーのオープニングイベントとして、10月に当市を主会場地に開催される希望郷いわて国体・いわて大会の炬火点火式を実施して国体に向けた市民の機運醸成を図るとともに、チャレンジデー参加種目として市内一斉ラジオ体操を実施することにより市民が事業の成功に向かう一体感を創り出し、国体の成功に向けて市民がさらに一体となるきっかけとします。

【アスリート・著名人など】

岡崎朋美(スケート競技 リレハンメル・長野オリンピック(銅メダル) など5回のオリンピックに出場) / アンダーパス((音楽ユニット)「たらしら」(みんなのうた)「VICTORY」(希望郷いわて国体・いわて大会応援ソング))

実行委員会の構成団体

スポーツ担当部署 / 学校教育担当部署 / 健康づくり担当部署 / 福祉担当部署 / スポーツ推進委員協議会 / 体育協会 / スポーツ少年団 / 総合型地域スポーツクラブ / 民間フィットネスクラブ / 小学校(校長会) / 中学校(校長会) / 高等学校 / 大学・短大・高専・専門学校 / 事業所・企業 / 商工会・青年会議所 / 社会福祉協議会 / PTA 連合会 / 自治会・町内会 / 高齢者団体・老人クラブ / 婦人会 / 障害者団体

メディア

岩手日日新聞 / 岩手日報 / 岩手朝日テレビ / 岩手めんこいテレビ / 北上ケーブルテレビ

広報・周知

市内の事業所約 2,000 社、市内各地域の自治組織、競技団体、幼・保、小中学校、高校へ文書と PR キャラバン隊による戸別訪問、参加依頼を実施しました。また、市 3 庁舎、スポーツ施設や各地域の交流センターに横断幕、ポスター、のぼり等を設置したほか広報車による周知を実施しました。個別訪問によって事業所の参加が大幅に増加しました。

製作物

チラシ 40,000 枚 / ポスター 350 枚 / 大型横断幕 3 枚 / 横断幕(その他) 3 枚 / のぼり 70 本 / T シャツ 260 枚 / ポケットティッシュ 10,000 個

実施効果

- ・市民の運動・スポーツに対する意識を高める良い機会となりました。
- ・オープニングで実施した「国体炬火点火式」と、国体 PR ダンスキャラバンにより国体開催への機運醸成につながりました。
- ・前回に引き続いて石垣市と友好都市対戦することができ、より一層、両市の友好交流の絆が深まりました。

担当者から

- ・市内一斉ラジオ体操の取り組みによる市全体の一体感につながり、国体でも一体となって成功へ向かう意識がさらに高まりました。
- ・事業所等への文書と戸別訪問による PR が功を奏して参加率アップに大幅につながったほか、多くの事業所がごみ拾いウォーキングに取り組み国体に向けて環境美化につながる良い機会になりました。
- ・今回は石垣市に完敗しましたが、多くの市民から「今回は是非リベンジを！」という声が出て積極的な取り組みが見られました。



国体 PR ダンス「わんこダンス」で参加



従業員もお客様と一緒に踊ります！

市民ら思い思いに汗 チャレンジ 各地でスポーツ行事

25日のチャレンジデー 前回は人口9万3755では、沖繩県石垣市との8人に対し参加率34・3再戦に勝利を収めようと、石垣市の4万89北上市内の各地区や事業 38人中47・5%に敗所、大型店舗などで市民 北、今回は「あじさいチヤレンジー」を掲げ、市内各地区の自治協議会らが思い思いの運動に汗を流した。団体スポーツ「チャレンジデー」を掲げ、巡回運動指導などで盛り上げ、スポーツの輪に加わ上がりを見せた。

このうち北上市村崎野の飯敷地区交流センターでは、ユニカールなどの二ユースポーツやヨガを一緒に体験、記念撮影やサインにも熱心に応じた。

同市飯豊の八重樫登子さん(64)は「ベタタンをやっていくのが面白い。さすがアスリートで何をしてもうまく、気さくな人柄も出ていた」とスタリストとの相れ合いを楽しんでいた。

団体出場経験もある岡崎さん。採火式では「熱い戦いではもちろん、発信にももってこいの機会になる」と、復興団体の成功を願っていた。

北上のチャレンジデー参加は5回目、通算成績は1勝3敗。今回の人口は北が9万3660人、石垣が4万9141

2016年5月26日 木曜日 岩手日日新聞

石垣市に雪辱果たす 北上市 参加率57・5%で勝利

25日に行われたチャレンジデーで、北上市は対石垣市に勝利した。北上市の人口9万6600人、石垣市の人口9万3755人。北は昨年87・5%の反響を生かし、伸び悩んだ企業や各地区からの参加者を推進、長野五輪綱メタリストの岡崎朋美さんによる巡回運動指導をした関係者は、市民が「前日の練習が当日に市内で複数行われたこと、集まった関係者が10月の岩手国体まで維持することを確った。

同日夜に市内で開かれたクローシングパーティで、出席した及川義明市長、公務で来市出張していた高橋敬市市長、沖繩の中山義雄市長、参加率を推した関係者が、30元中継で結果を報告した。勝利が分かった関係者は、集まった関係者が20人はもう手を挙げ喜びを爆発させた。

高橋市長は「10月の国体にはぜひ遊びに来てほしい」と友好を強調。及川市長が「開会式に席を用意している」と呼びかけたところ、中山市長は一葉晴らしい大会になったと「前向きに答えた。」

チャレンジデーは運動した人の人口に対する割合を自治体同士が競う。北上市は相手は相手の旗を1週間庁舎に掲げる。北上の通算成績は2勝3敗、及川市長は昨年は惨敗したが市民と職員が頑張ってくれた。16地区の盛り上がりや団体への思い、まちづくりのパワーにしたいと多くの協力を感謝した。



チャレンジデーで勝利し、喜びに沸く北上市の関係者

2016年5月27日 金曜日 岩手日報

熱戦願ひ火おこし 「マイギリ式」に挑戦

希望郷いわて関係者約300人が参加した。参加者は摩羅で熱をおこす「マイギリ式」で火種をつくり、火をおこした。トーチ火を移した後、児童らが受け皿に火をともし、歓声が上がった。火おこしに取り組んだ千葉美火は8月7日、北上市の集火が付き良かった。陸上競技場、桜さん、岡崎さんらに興味があるので観戦したい。



マイギリ式で火をおこす子どもたち

希望郷 2016
いわて 国体

岡崎さんは「五輪で採火があるように、国体にとって採火は大事なものです。国体では北上市をPRしてほしい」と意気盛で語った。

チャレンジデー(同実行委員会主催)の開催行事も兼ね、北上市は友好都市の沖繩県石垣市と対戦。市民は午前9時から午後9時までの間にラジオ体操やウォーキングなどに参加し、爽やかな汗を流した。

採火式は同日、同市北郷のえびつ工場地公園、和賀町岩崎の岩崎城跡でも実施。炬火の集火は8月7日、北上市の「みちの集」で実施される。

2016年5月26日 木曜日 岩手日報



国体炬火に採火するため火熾しに奮闘

主 催

葛巻町チャレンジデー実行委員会 (会長 鈴木重男)
NPO 法人葛巻町体育協会
〒028-5402 岩手県岩手郡葛巻町葛巻 8-33-2
TEL : 0195-66-3607 FAX : 0195-68-7056

結 果

人 口 : 6,658 人 岩手県葛巻町 ○
参加者数 : 4,854 人 VS
参加率 : 72.9% 神奈川県真鶴町 ●
取得メダル : 金

プログラム (太字 : 特に力を力を入れているプログラムと内容)

- ①チャレンジラジオ体操等(各行政区(35自治会)) 1,850人
 - ・ 町内 35 自治会でチャレンジラジオ体操、ウォーキング、ファミリーバレー、卓球、輪投げ、スカットボール、玉入れ、ビンゴ大会など各地区にあったプログラムを行っています。
- ②軽スポーツ体験(ほすなある、まちの駅、総合センター) 800人
- ③各地区チャレンジデースポーツ大会(各地区体育振興会(5地区)) 350人
- ④町民まなびい学園総合開講式及び葛巻福祉大学(葛巻小学校体育館) 300人
- ⑤チャレンジ体操・長縄跳び(役場前) 130人

実行委員会の構成団体

スポーツ担当部署/学校教育担当部署/観光担当部署/スポーツ推進委員協議会/体育協会/スポーツ少年団/総合型地域スポーツクラブ/商工会・青年会議所/婦人会/森林組合/JA

メディア

岩手日報/くずまきケーブルテレビ

広報・周知

ポスターに対戦相手を入れ各自治会・学校・保育園・施設・事業所へ掲示しています。チラシの裏に当日のプログラムを載せ全戸配布しています。35自治会・6地区体育振興会・学校関係・各保育園・各事業所へ、参加のお願い文章を発送しています。前日と当日に町内放送を行っています。

製作物

チラシ 3,500 枚/ポスター 150 枚/大型横断幕 12 枚/のぼり 170 本/Tシャツ 50 枚/ポケットティッシュ 6,000 個

実施効果

チャレンジデーが定着しているため各団体と連携がとれ、各イベントがスムーズに行えていると思います。

担当者から

22 回連続の参加により、チャレンジデーが定着していて、世代間交流の場になっています。(小さい学校は合併になり地区での運動会などもなくなったため、チャレンジデーが運動での世代間交流の場となっているようです。)



役場職員もチャレンジ体操



町民まなびい学園総合開講式での軽スポーツ



保育園児もニュースポーツ体験



タオルを使ったゲームで交流しながら運動する参加者

タオルリレーで世代間の交流も

葛巻

葛巻町は25日、人口が同規模の自治体や地区同士でスポーツ参加率を競う「チャレンジデー2016」に22年連続参加し、町民一丸で勝利を目指して運動に励んだ。

葛巻小体育館では、町民まなびい学園・葛巻福祉大が開講。参加した高齢者約220人と児童がタオルを首に巻いた後で隣に渡し、リレーするゲームやラジオ体操に取り組み、交流も深めた。

鈴木達夫君（6年）は「お年寄りと一緒に運動する機会はあまりないので、楽しみながら交流できた」と喜んだ。

と喜んだ。

2016年5月26日 木曜日 岩手日報

葛巻町が勝利し 軽米町は敗れる

チャレンジデー

全国の自治体同士で住民のスポーツ参加率を競った25日の「チャレンジデー2016」の結果が発表され、県北地域では葛巻町が勝利し、軽米町は敗れた。

葛巻町は参加率72・9%で、神奈川県真鶴町の58・7%を上回り、通算16勝10敗。葛巻町は1995年の参加以来、参加率の高い自治体が獲得できる金メダルを22回連続で獲得している。

軽米町の参加率は53・5%。秋田県五城目町の63・7%に敗れ、通算7勝4敗となった。

2016年5月27日 金曜日 岩手日報

主 催

陸前高田市チャレンジデー実行委員会 (会長 戸羽 太)
 陸前高田市教育委員会 生涯学習課
 〒 029-2292 岩手県陸前高田市高田町字鳴石 42-5
 陸前高田市役所
 TEL : 0192-54-2111 FAX : 0192-54-3888

結 果

人 口 : 20,179 人 岩手県陸前高田市 ○
 参加者数 : 15,516 人 VS
 参加率 : 76.9% 福岡県みやこ町 ●
 取得メダル : 金

プログラム (太字 : 特に力を力を入れているプログラムと内容)

- ① 体操(市役所厚生会) (コミュニティホール中庭) 267 人
- ② 玉入れタイムレース(総合型りくぜんたかた) (市内 10 ヶ所) 181 人
- ③ 開会式(ラジオ体操、ストレッチ) (矢作小学校体育館) 100 人
 - ・ 開会式会場を毎年変えています。該当地区のコミュニティ推進協議会の協力を得て、開会式イベントの周知に努めています。チャレンジデーのスタートを切る重要なイベントになっています。今年は、日本オリンピック協会からの紹介で、気仙沼市出身のオリンピック千葉健郎さんにお越しいただきました。子どもから高齢者まで、幅広い年代が集まり、ラジオ体操だけでなく二人一組のストレッチ体操等に取り組みました。
- ④ 閉会式(ストレッチ、ダンス等) (第一中学校体育館) 100 人

【アスリート・著名人など】

千葉健郎(ローマオリンピック・ボート競技)

実行委員会の構成団体

スポーツ担当部署／スポーツ推進委員協議会／体育協会／総合型地域スポーツクラブ／小学校(校長会)／中学校(校長会)／事業所・企業／商工会・青年会議所／社会福祉協議会／自治会・町内会／高齢者団体・老人クラブ／婦人会

メディア

東海新報／岩手日報

広報・周知

4 月初めに、チャレンジデーの開催と対戦相手を回覧文書にて周知し、5 月は報告用紙つきのチラシを各戸配布しました。また、市内の事業所や各小中学校、保育所・保育園にも協力を依頼しました。復興事業に携わっている土木・建築業者には、あらかじめ電話にてイベントを説明しました。市の広報誌や Facebook を活用することで、各種イベントプログラムを周知しました。

製作物

チラシ 9,100 枚／ポスター 200 枚／横断幕(その他) 4 枚／のぼり 50 本／Tシャツ 40 枚／ポケットティッシュ 1,000 個／

実施効果

17 回目の参加となり、市民の間でも 5 月はチャレンジデーがあるという意識が定着しています。市内事業所、学校、保育園・保育所でも、チャレンジデー実施日に合わせて運動を行っています。復興工事関係者に参加してもらうことで出身地に関係なく、市のイベントとして取り組むことができ、復興支援への感謝を発信するということにつながっていると思います。閉会式では、各種団体が中心となって踊りやダンスを楽しむことができました。また、仮設住宅にて練習しているエアロビクスの発表の場として、日頃の成果を生かす場となりました。

担当者から

参加者を迎える開会式会場の仮設住宅自治会で作成した横断幕に驚きました。開会式・閉会式には積極的に参加者が集まったほか、仮設住宅や災害公営住宅の集会所でニュースポーツを行い、運動を始めるきっかけづくりとすることができました。はっきりしない天気で、参加者も伸び悩みましたが、自治会・区長の協力もあり勝利を収めることができました。町ごとに参加率に差があるため、周知方法や集計の流れを改善しなければと感じます。



開会式みんなでストレッチ



初めてのグランドヤード

今年も勝利目指して

5月25日
一斉開催 チャレンジデー実行委 陸前高田市



陸前高田市チャレンジデー実行委を務める戸野シゲル（左）は、市役所で行われるイベント、今回も金メダル（参加率55%以上）をとり、対戦相手「健康づくりはスポーツ」に勝つ。市民の皆さんがそろって参加していただけるよう呼びかけた。報告、協議では昨年協賛、産業団体の関係者15人で構成。実

2月1日時点での人口が2万1799人の陸前高田市は、17回目の挑戦。平成11年から連続開催を重ねてきたが、東日本大震災の影響で23年は参加を見合わせた。24年度は参加したものの対戦相手は「健康づくりはスポーツ」で、その後は毎年勝利を続ける。27年度は参加率が73・2%に達した。通算成績は8勝7敗（対戦なし）となっている。

今年度の対戦相手となるみやこ町の人口は2万7822人で、5回目の参加となる。過去4度の対戦はいずれも勝利を取った。

チャレンジデー当日は、午前6時から矢作小学校仮設住宅地内で開会行事を予定。開会宣言に続き、ラジオ体操やストレッチを行う。閉会行事は午後6時30分から高田一中体育館で行われ、エアロビクスや各種体操などを織り交ぜる見通し。このほか、例年は小中学生によるロープジャンプ、グラウンドゴルフなども行われる。

成功と勝利を誓い合った実行委 陸前高田

「健康づくりはスポーツ」に勝つ。市民の皆さんがそろって参加していただけるよう呼びかけた。報告、協議では昨年協賛、産業団体の関係者15人で構成。実

2016年5月25日 水曜日 東海新報

76・9%で逆転勝ち

チャレンジデーで連勝 今年も金メダル獲得 陸前高田市



公益財団法人笹川生活文化を目的とし、その一環として、25日の15分以下運動大会「チャレンジデー2016」の結果をまとめた。陸前高田市は、今年も全国から178の自治体がエントリーし、市民の一日のスポーツ参加率を競った。陸前高田は毎年、行政と地域団体などの関係者らで実行委員（最終参加率72・6%）に幸くも勝利をおさめた。同市の勝利はこれに続き、最終的な参加者数は1万5516人で、参加率も76・9%に増え、人口1万2999人のみやこのカテゴリー（33自治体）の中で、神奈川県松田町（77・9%）に次ぐ2位の参加率低下が危惧された。昨年度は3位に落ちたが、互いに競り合ふ素晴らしい戦いとなった。同カテゴリーで70%超えしたのは、この3自治体だけだ。

敗れた市町村は、対戦相手の自治体旗を庁舎のメインポルに1週間掲げるのがルール。これにより、みやこ町の役所には来週まで、陸前高田市旗がはためくことになる。

午後5時過ぎに参加率を伸ばし、陸前高田市が今年も勝利をおさめた。高田一中

2016年5月27日 金曜日 東海新報

陸前高田市勝利 大槌町あと一歩

チャレンジデー

全国の自治体同士が25日、住民の一日のスポーツ参加率を競った「チャレンジデー2016」の結果がまとまり、本県沿岸地域から参加した陸前高田市は勝利し、大槌町は惜敗した。

陸前高田市は20179人中15516人が参加。76・9%で福岡県みやこ町の72・6%を上回り、通算9勝7敗とした。

大槌町は12394人中6693人が参加。54・0%で北海道東神楽町の56・6%を下回り、通算7勝4敗となった。

各市町の人口は2月1日現在の数字。

2016年5月27日 金曜日 岩手日報



閉会式みんなでダンス

主 催

七ヶ浜町チャレンジデー実行委員会 (実行委員長 齋藤敏昭)
七ヶ浜町教育委員会生涯学習課
〒985-0802 宮城県宮城郡七ヶ浜町吉田浜字野山 5-9
生涯学習センター

TEL : 022-357-3302 FAX : 022-357-2615

結 果

人 口 : 19,273 人 宮城県七ヶ浜町 ●
参加者数 : 10,077 人 VS
参加率 : 52.3% 埼玉県小鹿野町 ○
取得メダル : 銀

プログラム (太字 : 特に力を力を入れているプログラムと内容)

- ①オトナの運動会(アクアリーナ) 72 人
 - ・ 体育協会とスポーツ少年団に1チーム6名の参加依頼をして、スポーツ玉入れとスポーツ大玉運びを実施しました。一般参加が1グループあり大変な盛り上がりを見せたファイナルイベントでした。
- ②チャレンジウォーキング(七ヶ浜町内) 46 人
- ③いきいきシニア交流会(アクアリーナ) 38 人
- ④朝のラジオ体操(七ヶ浜町内) 34 人
- ⑤スーパーマーケットでお呼びかけ大作戦!(報告し忘れた人へ)
(ヤマザワ、SEIYU 入口付近) 116 人

実行委員会の構成団体

スポーツ担当部署/学校教育担当部署/スポーツ推進委員協議会/体育協会/スポーツ少年団/総合型地域スポーツクラブ/幼稚園・保育園/小学校(校長会)/中学校(校長会)/高等学校/事業所・企業/自治会・町内会

メディア

ミヤギテレビ「OH!パンです! 伝言パンです」

広報・周知

今回メディアに出演できたことは非常に大きな成果だと思えます。町内の多くの方から「テレビ見たよ!」と声をかけていただく機会がたくさんありました。ただし、普段運動を行っている方からの声がほとんどで、一般の方からの評価はわかりません。それでも次年度以降は積極的に外部に対して発信する機会を増やしていければと思います。

製作物

チラシ7,500枚/ポスター100枚/大型横断幕2枚/横断幕(その他)2枚/のぼり15本/Tシャツ260枚/ポケットティッシュ500個

実施効果

チャレンジデーの実施が8回目、町民にとって毎年恒例の行事となっている一方でマンネリ化している傾向があると感じます。

町民からは「今年は勝てるように!」「最近負けが続いてるからな!」といった声も聞こえてくるので、チャレンジデー自体は町民に浸透しているようです。チャレンジデーというイベントが町民のスポーツ活動のきっかけづくりになれば、町のスポーツ振興にもつながってくると思いますので、今後も継続して実施していければと思います。

担当者から

前任から引き継いで2回目のチャレンジデーでしたが、準備不足がかなりあり、結果最後までそれが出てしまったように感じています。新たな試みを模索していましたが、それも準備する時間が足りず実行まで移すことができませんでした。次年度以降も参加する際には、とにかく早めの準備を心掛けていきたいと思っております。報告用紙に記載していただいた町民からの意見も反映できるように来年の準備を進めていきたいと思っております。



シニアも元気に運動なう!



今年は優勝するぞ!



チャレンジウォーキング出発!(まだ元気です!)

住民総参加！自治体 vs 自治体の対抗戦！



チャレンジデー 2016

<全国一斉開催>

- 主催 セツ浜町チャレンジデー実行委員会
- 共催 セツ浜町・セツ浜町教育委員会・セツ浜町体育協会
- 日時 平成28年5月25日(水) 午前0時～午後9時
- 場所 セツ浜町内(自宅や学校・職場などどこでもOK)

5月25日(水)

セツ浜町民の一致団結の日



15分間運動して報告しよう!!

チャレンジデー PR用チラシ

CHALLENGEDAY

～しちがはま勝利に向けたイベント大作戦～

This year lineup

イベントの詳細は、アクアゆめクラブ(357-7920)までお問い合わせください



Let's Try 15min

町民一斉朝のラジオ体操
6:30～7:00【各地区】
セツ浜町内各地区避難所・分館等
朝のスタートはラジオ体操から♪
スポーツ推進委員のみなさんと元気に体操しよう！

しちがはまチャレンジウォーキング
9:00～12:00【申し込み制】
サッカースタジアム集合・解散
約10キロの道のりに3時間かけて
ゆっくりとチャレンジします！

ワンポイント情報
今年の対戦相手は埼玉県小栗野町。名産品は秩父牛です。相手の文化を理解するために、この日は牛肉を食べることをオススメします。
牛肉食べて絶対勝つモン！

テニスコート無料開放
9:00～21:30【当日申し込み制】
一団体1コートで2時間まで。
18時以降は照明代をいただきますのでご了承ください。

★★ チャレンジデーの夜は ★★

オトナの運動会を開催

日 時：平成28年5月26日(木) 19:30～21:00
場 所：アクアリーナ
参加費：無 料
種 目：①スポーツ玉入れ ②スポーツ大玉運び ※タイムレース勝負
申込み：アクアゆめクラブ事務局(357-7920)まで6人1組のチームで
お申し込みください。上位入賞にはすてきな景品あり！

CHALLENGEDAY
大人になっても運動会

【挑戦チーム大募集 エントリー5月22日(日)締切】
体育協会・スポーツ少年団のみなさんをはじめ、一般参加もOKです。
チームワークのよい6人でエントリーしてください！
玉入れは競技用の玉入れ、大玉運びはキンボールを使ってタイムレースを行います！
優勝を目指して、セツ浜町の勝利のため、ぜひご参加ください！

チャレンジデー PR用チラシ

主 催

チャレンジデー東松島市実行委員会 (会長 阿部秀保)
東松島市教育委員会 生涯学習課
〒 981-0503 宮城県東松島市矢本字上河戸 36-1
TEL : 0225-82-1111 FAX : 0225-82-1845

結 果

人 口 : 40,290 人 宮城県東松島市 ○
参加者数 : 19,199 人 VS
参加率 : 47.7% 大分県杵築市 ●
取得メダル : 銀

プログラム (太字 : 特に力を力を入れているプログラムと内容)

- ①東松島市小中学校対抗ロープ・ジャンプ大会(市内各小中学校) 1,375 人
- ②ファイナルイベント(東松島市民体育館) 150 人
- ③東松島市三輪車タイムレース選手権大会(アトムサーキット) 60 人
 - ・今年が初開催
 - 市内にあるサーキット場を貸切り、大人から子どもまで年代関係なく幅広く参加者を募集し、個人戦や団体戦を行った。団体戦では親子でチームを作ったり、スポーツ団体でチームをつくったり、職場の同僚同士でチームを作ったりなど、様々な形のチームがあり、白熱した戦いの中に笑いありのとても楽しいイベントとなりました。
- ④グラウンド・ゴルフ大会(鷹来の森運動公園野球場) 40 人
- ⑤ヨガ教室(赤井地区体育館・東松島市民体育館) 35 人

【アスリート・著名人など】

やっぺえ(NHK 仙台放送局キャラクター)

実行委員会の構成団体

スポーツ担当部署／学校教育担当部署／健康づくり担当部署／福祉担当部署／観光担当部署／総務担当部署／市民協働担当部署／スポーツ推進委員協議会／体育協会／スポーツ少年団／小学校(校長会)／中学校(校長会)／高等学校／事業所・企業／商工会・青年会議所／社会福祉協議会／PTA 連合会／自治会・町内会／婦人会

メディア

宮城テレビ「OH! バンデス」／ラジオ石巻「東松島なんだりかんだり2」／石巻日日新聞／石巻かほく新聞

広報・周知

- ・テレビやラジオなどメディアを活用し広域的な広報を行いました。
- ・SNS「Facebook」にページを作成し、準備状況や当日の様子、最終結果の速報をするなどチャレンジデー実施に向けた雰囲気づくりを行いました。
- ・のぼりや横断幕、ポスター設置。新聞折り込みチラシ、公用車等に貼り付けるマグネットシートによる告知など、広報に努めました。

製作物

チラシ 9,000 枚／ポスター 300 枚／大型横断幕 15 枚／横断幕(その他) 1 枚／のぼり 200 本／Tシャツ 50 枚／告知用マグネットシート 30 個

実施効果

スポーツへの関心を高められただけでなく、チャレンジデーをきっかけに集団移転による新たなコミュニティ内の交流などの地域交流や家族でイベントに参加することによる家族内での交流、多世代で同じイベントに参加することによる世代間交流など、様々な繋がりを持つきっかけづくりになったと思います。

担当者から

今年で 6 回目と市内で 5 月のスポーツイベントとして浸透・定着してきたと感じています。運営する事務局や、イベントの企画・運営をお願いしている市民センターでも、徐々にイベントの内容に変化をつけたり、新たなイベントを実施してみたりなど年々参加者の増加に伴い工夫や充実感が生まれてきているように感じます。



おらが故郷赤井はひとつウォーキング



三輪車タイムレース選手権大会

運動参加率 市町村で勝負

◆東松島市、七ヶ浜町のここ3年間の結果

東松島市		七ヶ浜町	
2013年 39.6%	●奄美市 (鹿児島県)	52.2%	○竹原市 (広島県)
2014年 44.8%	○南さつま市 (鹿児島県)	48.0%	●三好市 (徳島県)
2015年 45.3%	●豊後大野市 (大分県)	55.8%	●多度津町 (香川県)
	●南城市 (沖縄県)		

※数値は参加率、自治体名は対戦相手、○勝ち●負け

昨年のチャレンジデーで、アロマヨガを楽しんだ参加者(2015年5月27日) 東松島市提供



チャレンジデーでは、15分以上続けて何らかの運動をした人が自己申告する。自治体が企画したイベントの参加人数のほか、回収ボックスや電話などで報告を受け付け、参加者数を人口で割って参加率を算出する。今年は今国より市町村が参加を予定する。

チャレンジデー 毎年5月の最終水曜日に世界中で実施されている住民参加型スポーツイベント。1983年にカナダで始まり、日本では93年から公益財団法人「笹川スポーツ財団」(東京都)が主催している。人口規模が近い自治体同士が対戦。負けた場合、相手自治体の旗をけし、1週間掲げるルールがある。

東松島市は今回が6回目。2015年は参加率が45.3%で、大分県豊後大野市(51.2%)、沖縄県南城市(45.7%)に敗れた。これまでの成績は14年に南さつま市(鹿児島県)に勝ったのみと振るわないが、参加率は、初参加だった10年の32.8%から年々上昇し、今年は50%以上を目指す。

当市は市内の体育館などを開放するほか、空釜缶積みなどの町は勝った場合でも、対戦相手に敬意を表して旗を掲げる。町の担当者は「日頃からまちに運動を取り組めるきっかけになるよう、生活スタイルに合ったスポーツイベントを企画したい」と張り切っている。

問い合わせは東松島市が実行委員会(022-551-8211)・七ヶ浜町(022-551-8211)・七ヶ浜町が生涯学習課(022-551-8211)。

運動した住民の参加率を自治体同士、競い合うイベント「チャレンジデー」に、県内から東松島市と七ヶ浜町が参加する。5月25日(水)あり、東松島市は六ヶ浜町、七ヶ浜町は玉置小野町とそれぞれ対戦する。

チャレンジデー 県内から東松島と七ヶ浜

イベントを予定している。市の担当者は「災害公営住宅に移り、新たな暮らしを始めたい人も多い。顔なじみになるきっかけにしてほしい」と参加を呼びかける。

2016年4月20日 水曜日
読売新聞

ご近所誘って健康実感

チャレンジデーin東松島

参加率50%目標 市民ら運動に親しむ



健康遊具で心地よい汗を流す参加者

東松島市の住民総参加型スポーツイベント「2016チャレンジデーin東松島」が25日、市内各地で繰り広げられた。初めは会場となった、あおひけい自公園(健康づくり・憩いの広場)には近くの中高生らが軽装で参加。背中や腰、腕、脚などの強化にも役立つ19基の健康遊具を使いながら心地よい汗を流した。

健康遊具は見た目もユニークで、楽しみながら健康維持・増進ができるのが特長。心臓・肝臓、腎臓、胃などの臓器が分かる「健康快道」と名付けられた足つぼのコーナーもあり、人気を集めた。全市職18人も参加しイベントを盛り上げた。

週一回ペースで2100メートルを歩くと、健康遊具は見た目もユニークで、楽しみながら健康維持・増進ができるのが特長。心臓・肝臓、腎臓、胃などの臓器が分かる「健康快道」と名付けられた足つぼのコーナーもあり、人気を集めた。全市職18人も参加しイベントを盛り上げた。

健康遊具は見た目もユニークで、楽しみながら健康維持・増進ができるのが特長。心臓・肝臓、腎臓、胃などの臓器が分かる「健康快道」と名付けられた足つぼのコーナーもあり、人気を集めた。全市職18人も参加しイベントを盛り上げた。

2016年5月26日 木曜日 石巻かほく



ファイナルイベント集合写真

主 催

秋田市チャレンジデー実行委員会 (名誉会長 穂積 志)
秋田市観光文化スポーツ部スポーツ振興課
〒010-8560 秋田県秋田市山王一丁目1-1
TEL: 018-888-5611 FAX: 018-888-5612

結 果

人 口: 316,160 人 秋田県秋田市 ○
参加者数: 105,969 人 VS
参加率: 33.5% 山口県下関市 ●
取得メダル: 銀

プログラム (太字: 特に力を力を入れているプログラムと内容)

- ①チャレンジデーみんなでラジオ体操(あきぎんスタジアム) 700 人
- ②わくわくチャレンジデー(乳幼児の親子対象)(各市民サービスセンター) 663 人
 - ・チャレンジデーへの参加機運を一層高めることを目的に、オープニングイベントとして朝7時45分から「チャレンジデーみんなでラジオ体操」を実施しました。市民のほか、市・県職員、地元プロスポーツチームの選手、スポーツ推進委員を中心とした参加者全員でラジオ体操等を取り入れた運動を行いました。
- ③チャレンジデーブラウブリッツパーク(サッカー交流大会等)(あきぎんスタジアム) 423 人
- ④チャレンジデーグラウンド・ゴルフデー(太平山リゾート公園 GG 場グリーンパル) 300 人
- ⑤チャレンジデーダンスパーティー(CNA アリーナ★あきた(市立体育館)) 250 人

【アスリート・著名人など】

安部欣哉(元フェンシング選手 バルセロナオリンピック代表)
／ブラウブリッツ秋田(サッカー J3 所属)／秋田ノーザンブレッツ
(トップイースト1部リーグ所属)／加瀬祐佳(第15回ソフト
テニス世界選手権 女子ダブルス3位)

実行委員会の構成団体

スポーツ担当部署／スポーツ推進委員協議会／体育協会／スポーツ少年団／中学校(校長会)／大学・短大・高専・専門学校／事業所・企業

メディア

秋田魁新報／秋田テレビ／秋田放送／秋田朝日放送／秋田ケーブルテレビ／ごくじょうラジオ

広報・周知

今年は、参加報告方法等を広く市民に周知するため、市内約13万5千世帯にPRリーフレットを全戸配布したほか、企業や各種スポーツ関係団体への参加依頼を強化しました。また、市公式Twitter(ツイッター)などにより、最新情報の提供に努めるなど、新たな取り組みが功を奏し、参加率の向上につながったものと考えております。

製作物

チラシ145,000枚／ポスター100枚／大型横断幕2枚／のぼり100本／Tシャツ70枚／ポケットティッシュ2,000個／風船2,000個／ホイッスル付ライトペン4,000個／啓蒙看板およびカウントダウンボード10枚

実施効果

チャレンジデーの開催を契機として、市民のスポーツに対する関心と習慣化を喚起したことにより、結果として参加率が昨年と比較し10%以上も上回りました。また、子どもから高齢者まで気軽に参加できる様々なイベントを、民間企業等と連携・協力して実施したことにより、行政単独では対応しきれない市民ニーズにも応じられたものと認識しております。

今後は、チャレンジデーで構築した民間企業等との連携体制をさらに実質的かつ効果的に推進し、本市が目指す「生涯スポーツ社会の実現」を目指します。

担当者から

チャレンジデー参加自治体の中で最も人口が多いという状況の中で、昨年に続いて2回目の参加ということに加え、今年はPRリーフレットを市内約13万5千世帯に全戸配布したことにより、市民に「チャレンジデー」というイベントが認知されつつあると感じています。来年に向けましては、ただ単に、対戦相手との勝負や参加率にこだわるだけではなく、引き続き、それぞれのライフステージに応じた運動やスポーツ活動の推進に取り組んでまいります。



オープニングイベント「みんなでラジオ体操」



中心市街地「なかいち」で武術極拳を実施

チャレンジデー2016、本県自治体の対戦表

本県	対戦相手	本県	対戦相手
秋田市	下関市(山口県)	湯沢市	神埼市(佐賀県)
鹿角市	赤松市(岡山県)	小坂町	枝幸町(北海道)
北秋田市	雲南市(島根県)	上小阿仁村	飛島村(愛知県)
	南さつま市(鹿児島県)	藤里町	新郷村(青森県)
大館市	甲斐市(山梨県)	八峰町	新得町(北海道)
能代市	奄美市(鹿児島県)	三種町	北広島町(広島県)
男鹿市	多度津町(香川県)	井川町	和泊町(鹿児島県)
潟上市	扶桑町(愛知県)	八郎潟町	鷹栖町(北海道)
由利本荘市	豊岡市(兵庫県)	五城目町	軽米町(岩手県)
にかほ市	富良野市(北海道)	大湯村	藤塚村(宮崎県)
大仙市	小金井市(東京都)	美郷町	竹原市(広島県)
仙北市	上富田町(和歌山県)	羽後町	松田町(神奈川県)
横手市	隠島市(鹿児島県)	東成瀬村	南相木村(長野県)

全国の市町村同士で住民のスポーツ参加を競う「チャレンジデー」(釜川スポーツ財団主催)が、今年は5月25日に開催される。全国から昨年と同じ130市町村が参加。昨年、全国で唯一全市町村が参加した本県は、今年も25市町村がエントリーしており、2年連続で全国唯一の全市町村参加となる。

5月25日 チャレンジデー

今年も全25市町村参加

ほぼ同じ自治体同士で、15分以上運動した住民の割合を競う。昨年、県内最高の95・1%の参加率だった東成瀬村はカテゴリー1(人口5千人未満)で、長野県南相木村と対戦する。カテゴリー5(7万人以上、25万人未満)では全国最高の86・9%だった横手市は鹿児島県霧島市と、カテゴリー6(人口25万人以上)で21・7%だった秋田市は山口県下関市と、それぞれ競い合う。

昨年は全国130市町村から約277万人、本県からは25市町村の53万人余りが参加し、体操やウォーキング、社交ダンスなど多彩なイベントで体を動かした。

釜川スポーツ財団の担当者は「秋田のチャレンジデーの盛り上がりには他県の関係者も驚いている。今年も多くの人に参加しても

2年連続で全国唯一

本県



昨年のチャレンジデーで行われたダンスパーティー。参加者は曲に合わせて社交ダンスを楽しんだ。秋田市立体育館

(山形寿士)

2016年4月4日 月曜日
秋田魁新報

25日にチャレンジデー

下関市長とエール交換

穂積市長 健闘誓い、お国自慢も

住民のスポーツ参加率を競う秋田市民市場をモデルケース「チャレンジデー」が25日、スタートした市場がある。秋田に開かれるのを前に、秋田市との縁を紹介した。昨年の穂積市長が16日、対戦相手の山口県下関市の中尾友昭市長とインターネット電話を法を記載したパンフレットを通じてエールを交換した。

2回目の参加となる秋田市。内を明かすと、中尾市長は、今の人口は約31万人で、初参加からこちらも製作したい。関の下関市は約27万人、穂積市に合うだろうか」と下関側が長は「下関市はフクの産地だ。さわつく一帯もあつた。

が、秋田にも北限のフクとい。進み、「勝ち負けはあるにしても互いに頑張ろう」と健闘を誓い合った。



中尾下関市長とエールを交換する穂積秋田市長

秋田市は昨年、参加率が21・7%にとどまり、50・3%の出口を破れた。今年も秋田と下関の間が共に参加率30%超を目指している。(鎌田秀平)

2016年5月17日 火曜日
秋田魁新報



運動後は親子仲良く食事の勉強会

主 催

井川町チャレンジデー実行委員会 (実行委員長 齋藤多聞)
井川町教育委員会
〒018-1523 秋田県南秋田郡井川町坂本字山崎 19
TEL : 018-874-3668 FAX : 018-874-3668

結 果

人 口 : 5,041 人 秋田県井川町 ○
参加者数 : 3,859 人 VS
参加率 : 76.6% 鹿兒島県和泊町 ●
取得メダル : 金

プログラム (太字 : 特に力を力を入れているプログラムと内容)

- ① 小学校元気タイム (小学校) 210 人
- ② 親子でレッツ・ダンス (こどもセンター) 150 人
- ③ スポーツ施設無料開放 (町民体育館等) 150 人
 - ・ 町内にあるスポーツ施設をすべて無料開放してスポーツを楽しんでもらうようにしています。29 ある町内会の町内対抗競争方式 (参加率 1% に付き 1 点) を採用して、6 月に開催される全町民体育大会の総合点数に加算することで町民の関心が高まり年々成果が現れています。また、町内ごとに世帯単位で自作のラベルを貼ったボックスティッシュを配布することで PR が浸透してきています。
- ④ いきいき健康教室等 (農村環境改善センター) 80 人

実行委員会の構成団体

スポーツ担当部署 / 学校教育担当部署 / 健康づくり担当部署 / スポーツ推進委員協議会 / 体育協会 / スポーツ少年団 / 幼稚園・保育園 / 小学校 (校長会) / 中学校 (校長会) / 事業所・企業 / 自治会・町内会 / 高齢者団体・老人クラブ

メディア

湖畔時報

広報・周知

29 ある町内会の町内対抗競争方式 (参加率 1% に付き 1 点) を採用して、6 月に開催される全町民体育大会の総合点数に加算することで町民の関心が高まり年々成果が表れています。また、当町独自の有線放送をフルに活用したり、全世帯に自作のラベルを貼ったボックスティッシュを配布。さらに、各事業所を直接訪問してポスター貼りや事業説明を行ってきたため、周知が徹底してきており関心が高まってきました。

製作物

チラシ 2,000 枚 / ポスター 100 枚 / のぼり 20 本 / T シャツ 30 枚 / ポケットティッシュ 1,600 個 / PR タオル 300 個

実施効果

町内会、各事業所、学校等を巻き込んだ協力体制が浸透してき

ており、町民全体がスポーツに関心を持つ貴重な事業になっています。参加以降、すべて金メダルを獲得し士気も高まってきており、今後も参加率向上が見込まれます。

担当者から

秋田県全市町村が実施したことにより、チャレンジデーの浸透速度、関心度が加速度的に高まったように感じられます。少子高齢化や健康寿命が話題の中心となるなか、今後、この事業の趣旨や効果が非常に有効な事業として位置づけられる可能性を感じています。



小学校元気タイム



スポーツ施設無料開放



いきいき健康教室

全国の市町村同士で住民のスポーツ参加率を競う「チャレンジデー」(笹川スポーツ財団主催)があす25日、全国一斉に行われる。昨年、全国で唯一全市町村が参加した本県は、今年も25市町村がエントリー。

2年連続で全国唯一の全市町村参加となる。23日には秋田市の県市町村会館で決起集会在行われ、佐竹敬久知事や自治体首長、本県出身のスポーツ選手ら約40人が健闘を誓った。 ■関連記事18面

あすチャレンジデー

みんなで運動楽しもう



決起集会で拳を突き出し健闘を誓い合う出席者たち

決起集会、健闘誓う 秋田市

チャレンジデーは毎年5月の最終水曜日に行う住民参加型のスポーツ行事。人口規模のほぼ同じ自治体同士で、午前0時〜午後9時に15分以上運動した住民を数え、人口に占める参加率

を対戦相手の市町村と競う。今年も全国の128自治体

決起集会では、佐竹知事が「全市町村が一致団結し、昨年よりも高い参加率を目指せ」とあいさつ。笹川

チャレンジデー大使としてあす各市町村を訪れる元ラグビー日本代表の伊藤護さん(男鹿市出身)は健康増進や地域活性化につながる「ぼろっ」と語った。大使は伊藤さんのほか、▽茂木優さん(元五輪レスリング代表)▽利部陽子さん(元五輪バレーボール代表)▽石垣寿美子さん(スキー距離選手)。小野さんも激励訪問する。大使らの訪問市町村や時間等は県体協ホームページで紹介している。(椎名博樹、菊地隆秀)

2016年5月24日 火曜日 秋田魁新報

チャレンジデー 本県は12勝14敗 参加率 横手市88.5%、全国5位

全国128市町村が住民のスポーツ参加率を競った「チャレンジデー2016」(25日実施)の結果がまとまった。本県からは2年連続で全25市町村が参加。北秋田市が2市と対戦しており、成績は26戦12勝14敗だった。昨年は25戦12勝5敗だった。県内で最も参加率が高かったのは88.5%の横手市で、全国5番目だった。

県内では56万6604人がしたが、対戦相手の鹿角島県霧島市は90.1%に上り競りはじめとする多彩な運動で汗を流した。県平均の参加率は54.4%で、全国の54.3%をわずかに上回った。参加率は25市町村のうち14市町村で昨年を上回った。横手市は昨年より1.6%上昇をわすかに上回った。61.1%だったが、対戦した市町村は昨年より1.6%上昇。宮崎県諸塚村の88.9%には及ばなかった。(北嶋彩佳)

チャレンジデー参加率 (単位%)	
○	秋田市 33.5
○	鹿角市 70.2
×	大館市 65.3
○	北秋田市 55.6
×	能代市 44.2
×	男鹿市 50.7
○	湯上市 61.1
○	由利本荘市 82.8
×	にかほ市 42.5
×	大仙市 55.7
×	仙北市 51.8
×	横手市 88.5
×	湯沢市 48.9
×	小坂町 47.5
×	上小阿仁村 66.2
×	藤里町 87.2
×	八峰町 64.6
×	三種町 48.0
○	五城目町 63.7
○	八郎潟町 73.4
○	井川町 76.6
×	大湯村 61.1
○	美郷町 66.7
×	羽後町 51.7
○	東成瀬村 87.7

○は勝ち、×は負け

2016年5月27日 金曜日 秋田魁新報

主催

羽後町チャレンジデー実行委員会 (実行委員長 安藤 豊)
羽後町教育委員会

〒012-1131 秋田県雄勝郡羽後町西馬音内字中野 187
羽後町総合体育館

TEL : 0183-62-1323 FAX : 0183-62-1323

結果

人口 : 15,948 人 秋田県羽後町 ●
参加者数 : 8,238 人 VS
参加率 : 51.7% 神奈川県松田町 ○
取得メダル : 銀

プログラム (太字 : 特に力を力を入れているプログラムと内容)

- ① 出前!ウォーキング(各地区公民館) 160 人
 - ・正しい姿勢で正しく歩くことが最高のトレーニングになることから、個人の体力に合わせての運動が可能である。
- ② グラウンド・ゴルフ月例大会(羽後町スポーツガーデン) 103 人
- ③ おはよう!ラジオ体操(羽後町多目的運動広場) 85 人
- ④ ファイナルイベント(じゃんけん列車&マイムマイム)(羽後町総合体育館(羽後アリーナ)) 77 人
- ⑤ 3 on 3(バスケットボール)(羽後町総合体育館(羽後アリーナ)) 50 人

【アスリート・著名人など】

利部陽子(元全日本バレーボール選手 ロサンゼルスオリオンピック 銅メダル) / 郡司歩((株)みちのくプロレス)

実行委員会の構成団体

スポーツ担当部署 / 学校教育担当部署 / 健康づくり担当部署 / 福祉担当部署 / 観光担当部署 / 総務担当部署 / スポーツ推進委員協議会 / 体育協会 / スポーツ少年団 / 総合型地域スポーツクラブ / 幼稚園・保育園 / 小学校(校長会) / 中学校(校長会) / 高等学校 / 事業所・企業 / 商工会・青年会議所 / 社会福祉協議会 / 自治会・町内会 / 高齢者団体・老人クラブ / 健康推進委員

メディア

秋田魁新報

広報・周知

各地区に委嘱されている羽後町健康推進委員の協力により、イベントの参加要請と報告用紙の回収に奮闘していただきました。

製作物

チラシ 5,500 枚 / ポスター 200 枚 / 大型横断幕 1 枚 / 横断幕(その他) 10 枚 / のぼり 100 本 / Tシャツ 190 枚 / ポケットティッシュ 2,000 個

実施効果

町民の体を動かすこと、健康づくりに対する意識高揚が年々、あがってきています。

担当者から

チャレンジデーをきっかけに健康づくりに対しての意識と継続して運動を行うことも、徐々に浸透してきています。各種団体、地域の方々、関係者にはお礼を申し上げます。



オープニング おはよう!ラジオ体操



運動会ごっこでハッスル



ファイナルイベント マイムマイム♪

チャレンジデー2016、本県自治体の対戦表

本県	対戦相手	本県	対戦相手
秋田市	下関市(山口県)	湯沢市	神埼市(佐賀県)
鹿角市	赤磐市(岡山県)	小坂町	枝幸町(北海道)
雲南市(島根県)	上小阿仁村	飛鳥村(愛知県)	
北秋田市	南さつま市(鹿児島県)	藤里町	新郷村(青森県)
大館市(山梨県)	甲斐市(山梨県)	八峰町	新得町(北海道)
能代市(鹿児島県)	奄美市(鹿児島県)	三種町	北広島町(広島県)
男鹿市	多度津町(香川県)	井川町	和泊町(鹿児島県)
潟上市	扶桑町(愛知県)	八郎潟町	鷹栖町(北海道)
由利本荘市	豊岡市(兵庫県)	五城目町	軽米町(岩手県)
にかほ市	富良野市(北海道)	大湯村	舘野村(宮崎県)
大仙市	小金井市(東京都)	美郷町	竹原市(広島県)
仙北市	上富田町(和歌山県)	羽後町	松田町(神奈川県)
横手市	霧島市(鹿児島県)	東成瀬村	南相木村(長野県)

全国の市町村同士で住民のスポーツ参加率を競う「チャレンジデー」(毎川スポーツ財団主催)が、今年は5月25日に開催される。全国から昨年と同じ130市町村が参加。昨年、全国で唯一全市町村が参加した本県は、今年も25市町村がエントリーしており、2年連続で全国唯一の全市町村参加となる。

5月25日 チャレンジデー

今年も全25市町村参加

ほぼ同じ自治体同士で、15分以上運動した住民の割合を競う。昨年、県内最高の95・1%の参加率だった東成瀬村はカテゴリー1(人口5千人未満)で、長野県南相木村と対戦する。カテゴリー5(7万人以上、25万人未満)では鹿児島県霧島市と、カテゴリー6(人口25万人以上で21・7%だった秋田市は山口県下関市と、それぞれ競い合う。

昨年は全国130市町村から約277万人、本県からは25市町村の59万人余りが参加し、体操やウォーキング、社交ダンスなど多彩なイベントで体を動かした。笹川スポーツ財団の担当者は「秋田のチャレンジデーの盛り上がりには他県の関係者も驚いている。今年も多くの人に参加してほしい。」と話している。(山影寿士)

2年連続で全国唯一 本県



昨年のチャレンジデーで行われたダンスパーティー。参加者は曲に合わせて社交ダンスを楽しむ。秋田市立体育館

2016年4月4日 木曜日
秋田魁新報



みちのくプロレスの都司歩さんも参加しました(三輪小学校)



グラウンドゴルフ大会(スポーツガーデン)



みんなで「チャレンジタイム」(高瀬小学校)



出前! ウォーキング教室(新成公民館)

チャレンジデー 2016

羽後町の参加率51.7%
ご参加ありがとうございました。



おれんじパワーアップ(西馬音内小学校)

チャレンジデー 2016対戦結果

自治体	参加回数	人口	参加者	参加率	順位
秋田県 羽後町	5回目	15,948人	8,238人	51.7%	2位
神奈川県 松田町	3回目	11,441人	8,917人	77.9%	1位

羽後町地区別参加結果

自治体	地区	人口	参加者	参加率	順位	
秋田県羽後町	西馬音内	4,905人	1,849人	37.7%	2位	
	三輪	3,901人	1,211人	31.0%	4位	
	新成	1,862人	555人	29.8%	6位	
	明治	1,260人	382人	30.3%	5位	
	元西	1,506人	429人	28.5%	7位	
	田代	1,481人	470人	31.7%	3位	
	仙道	1,033人	457人	44.2%	1位	
	町外	-	2,885人	-	-	-
	計	-	15,948人	8,238人	51.7%	-

*人口は平成28年2月1日現在

スポーツを通した明るいまちづくりや健康づくり事業の一環として、また、市民の健康に対する意識を高めるきっかけづくりとして今年で5回目の「チャレンジデー 2016」が5月25日(水)、町内全域で行われました。

住民参加型のスポーツイベントで毎年5月の最終水曜日に人口規模がほぼ同じ自治体同士が、午前0時から午後9時までの間に、15分以上続けて運動やスポーツに参加した住民の「参加率(%)」を競います。そして、残念ながら敗れた自治体は、対戦相手の自治体の旗を役場庁舎に1週間掲揚するという「まちの威風と名譽」をかけたユニークなルールによって行われます。

今年も全国128の自治体が参加し、秋田県からは25の全市町村が参加しました。当日は県のチャレンジデー大使、利部陽子氏(ロサンゼルスオリンピック女子バレーボール銅メダリスト)の来町や羽後町観光大使、都司歩氏(みちのくプロレス、西馬音内出身)が各地域の活動を応援していただきました。

結果は、羽後町(5回目)は参加人数8,238人(参加率51.7%)で対戦相手の神奈川県松田町(3回目)が参加人数8,917人(参加率77.9%)で残念ながら松田町に敗れました。

今後は参加率の向上に向け競技種目の工夫など「住民の健康づくり」や「スポーツ振興」、「地域の活性化」につなげていきたいと考えています。

また、昨年の対戦相手の熊本県山都町が「熊本地震」によって被災したため会場に募金箱を設置し、義援金を贈りました。

2016年7月1日 金曜日 広報うご

主 催

大潟村チャレンジデー実行委員会 (村長 高橋浩人)
大潟村教育委員会 生涯学習班 村民体育館
〒 010-0441 秋田県南秋田郡大潟村北 2-1
TEL : 0185-45-2269 FAX : 0185-45-2685

結 果

人 口 : 3,239 人 秋田県大潟村 ●
参加者数 : 1,978 人 VS
参加率 : 61.1% 宮崎県諸塚村 ○
取得メダル : 銀

プログラム (太字 : 特に力を力を入れているプログラムと内容)

- ① ラジオ体操 (役場・消防署・農協・保健センター他) 273 人
 - ・ 農家の方や、お年寄りの方向けとしては早朝ラジオ体操を実施し、公共機関で働く方向けとして、お昼のラジオ体操を実施いたしました。
- ② 買い物ウォーキング (産直センター) 240 人
- ③ 盆踊り練習 (小学校) 170 人
- ④ ウォーキング (産直センター・干拓博物館ケアハウスゆうゆう・ひだまり苑 等々) 138 人
- ⑤ 体操 (デイサービス・つくし苑・ふれあい健康館) 48 人

実行委員会の構成団体

健康づくり担当部署 / スポーツ推進委員協議会 / 総合型地域スポーツクラブ / 幼稚園・保育園 / 小学校 (校長会) / 中学校 (校長会) / 社会福祉協議会 / 自治会・町内会

メディア

秋田魁新報

広報・周知

主要観光施設や、日中に利用が集中するような公共施設を選び、ポスター配付やのぼり設置を行いました。

また秋田県で、昨年度売上げ 1 位を記録した産直センター「潟の店」で周知活動を行うことで、村外の方にも広く周知を行いました。

製作物

チラシ 2,200 枚 / ポスター 50 枚 / のぼり 20 本 / T シャツ 40 枚 / ポケットティッシュ 3,400 個

実施効果

昨年から継続して行ったことで、村内の気運をより高めた状態で実施できました。結果として、参加率の大幅向上が見られ、特に農繁期でありながらも、田園付近でウォーキングを自主的に行うなど、農家の方々の積極的な協力を得られました。村民の方のスポーツ振興の意識向上に、非常に効果があったと思います。



早朝ラジオ体操



ラージボール卓球



体操

チャレンジデー

本県は12勝14敗

参加率 横手市 88.5%、全国5位

全国1の8市町村が住民のスポーツ参加率を競った「チャレンジデー2016」（25日実施）の結果がまとまった。本県からは2年連続で全25市町村が参加。北秋田市の市対戦しており、成績は26戦12勝14敗だった。昨年は25戦し20勝5敗だった。県内で最も参加率が高かったのは88.5%の横手市で、全国5番目だった。

県内では56万6004人がしたが、対戦相手の鹿児島県ウオーキングや社交ダンスを霧島市は90.1%に上り競りはじめと多彩な運動で汗を流した。県平均の参加率は54.4%で、全国の54.3%をわずかに上った。参加率は25市町村のうち14市町村で昨年を上回った。横手市は昨年より1.6ポイント上昇

チャレンジデー参加率

	参加率(単位%)
○ 秋田市	33.5
○ 鹿角市	70.2
× 大館市	65.3
○× 北秋田市	55.6
× 能代市	44.2
× 男鹿市	50.7
○ 湯上市	61.1
○ 由利本荘市	82.8
× にかほ市	42.5
× 大仙市	55.7
× 仙北市	51.8
× 横手市	88.5
× 湯沢市	48.9
○ 小坂町	47.5
× 上小阿仁村	66.2
× 藤里町	87.2
○ 八峰町	64.6
× 三種町	48.0
○ 五城目町	63.7
○ 八郎潟町	73.4
○ 井川町	76.6
× 大潟村	61.1
○ 美郷町	66.7
× 羽後町	51.7
○ 東成瀬村	87.7

○は勝ち、×は負け

秋田市は参加率33.5%で、初参加の昨年より11.8ポイント増えた。市スポーツ振興課は、PRチラシを全戸配布して参加を促したことが奏功したのではないかとしている。人口25万人以上の都市として参加したのは全国で秋田市と山口県下関市のみで、下関市を8.1ポイント上回った秋田市が「カテゴリー別優秀賞」を獲得した。

チャレンジデーは笹川スポーツ財団と参加市町村の主催。人口規模がほぼ同じ自治体同士で、15分以上運動した住民が人口に占める割合を競い合った。

(北嶋彩佳)

2016年5月27日 木曜日 秋田魁新報

多彩なスポーツ 住民の歓声響く

チャレンジデー 25市町村参加

ほぼ同じ人口規模の市町村同士が、15分以上続けて運動した住民の割合を競う「チャレンジデー」が25日、全国1の8市町村で行われた。本県からは昨年同様全25市町村が参加し、住民が多彩なスポーツで汗を流した。

■関連記事21面

藤里町では藤里小学校の全校児童113人が午前10時半ごろ学校を出発し、町役場までウォーキング。児童は歴史や観光のイベントが親か上の人やアニメのキャラクターなど思い思いの衣装を身にまとい、800メートルの距離を約20分かけて歩いた。到着後には藤里町の勝利を願う「フレフレ」と声を上げた。6年の小田原呼子を動かすことができていると喜んでいたと話した。

恒額)

秋田市のにぎわい交流館では、遊びを通じて運動に親かむ親子向けのイベントが開かれた。20組44人が腕立て伏せの体勢でのじゃんけんや、片足立ちでの押し相撲などに挑戦し、会場には子どもたちの笑い声が響いた。

チャレンジデーは笹川スポーツ財団(東京)と参加自治体(青柳洋祐、木村徹貴、本多)



役場前でエールを送る藤里小の児童



腕立て伏せの体勢でじゃんけんする親子



夢中やまを歩く羽後町役場の職員ら

2016年5月26日 木曜日 秋田魁新報

主 催

大館市チャレンジデー実行委員会 (会長 福原淳嗣)
大館市教育委員会 スポーツ振興課 スポーツ交流推進係
〒018-3595 秋田県大館市早口字上野 43-1
田代総合支所内
TEL : 0186-43-7148 FAX : 0186-54-6999

結 果

人 口 : 75,641 人 秋田県大館市 ●
参加者数 : 49,430 人 VS
参加率 : 65.3% 山梨県甲斐市 ○
取得メダル : 金

プログラム (太字 : 特に力を力を入れているプログラムと内容)

- ①ロープ・ジャンプ・X(市内各小・中学校) 1,242 人
- ②開始式(大館樹海ドーム) 723 人
 - ・参加者全員でラジオ体操を行ったほか、大館市観光キャラクター「はちくん」のイメージソング『ワンだふる はちくん』を、市長・教育長・はちくん・来場者全員で踊りました。
- ③フットサル(大館樹海ドーム) 98 人
- ④ヨガ体験会(大館樹海ドーム パークセンター) 40 人

実行委員会の構成団体

スポーツ担当部署／スポーツ推進委員協議会／体育協会／スポーツ少年団／レクリエーション協会／総合型地域スポーツクラブ／スポーツ振興会連絡協議会／小学校(校長会)／中学校(校長会)／事業所・企業／商工会・青年会議所／高齢者団体・老人クラブ／婦人会

メディア

北鹿新聞／AAB「AAB ニュース&ウェザー」／大館ケーブルテレビ

広報・周知

- ・当市独自の啓発用チャレンジデーポロシャツを作成し、市長・教育長などへ配布し着用をお願いしたほか、市職員へも購入と着用をお願いしました。
- ・市内の企業へチラシを送付したほか、一部企業へ直接訪問し広報活動を積極的に行いました。
- ・Facebook や Twitter を活用し、途中経過の発表やイベントの告知を積極的に行いました。

製作物

チラシ 6,000 枚／ポスター 300 枚／大型横断幕 3 枚／のぼり 130 本／Tシャツ 100 枚／ポケットティッシュ 2,500 個／ポロシャツ 73 枚

実施効果

当市は今回で 4 回目の実施となりましたが、徐々にではありませんが「チャレンジデー」が浸透してきているのを実感しております。今年には町内会での参加が多く、チャレンジデーを通してスポーツの推進だけでなく、地域内の交流が生まれています。



みんなで踊ろう！「ワンだふるはちくん」



開始式での「ラジオ体操」



秋田犬・市長と一緒にノルディックウォーキング

あすチャレンジデー 健闘を誓い エール交換 大館市と山梨・甲斐市

住民のスポーツ参加率を自己体間で競う「チャレンジデー」があす25日に行われるのを前に、大館市の福原淳嗣市長は23日、対戦相手の山梨県甲斐市の保坂武市長と電話でエール交換した。

■関連記事22面
市長室で電話した福原市長は「チャレンジデーは市民に浸透してきた。大勢の市民が

参加してくれることを期待している」と話した。保坂市長は「お互いに楽しみながら、市民に参加を呼び掛けていこう」と応じた。

甲斐市は人口約7万4千人で、天然記念物・甲斐犬のふるさととして知られる。福原市長は「大館は秋田犬の地元。天然記念物にゆかりのある自治体同士の勝負であり、勝利を目指す」と意気込んだ。

大館市の人口は約7万5千




甲斐市の保坂市長と電話でエール交換する福原市長

2016年5月24日 火曜日 秋田魁新報

チャレンジデー 夜も運動楽しむ 大館

チャレンジデーが行われた 25日夜は参加対象の午後9時



フットサルなどで地域住民が汗を流した夜の部（樹海ドーム）

参加率 **65.35%で金メダル**

大館市 甲斐市に敗れる

25日夜、全国一斉に行われた「チャレンジデー」の集計結果がまとまった。大館市（人口7万5641人）は連年8カ所の自治体で行われた。総参加者数は292万2000人、9%の山梨県甲斐市（人口7万4860人）に敗れた。チャレンジデーは全国12市が6月1日まで甲斐市旗を本庁舎に掲げている。

4人、平均参加率は54.3%となった。大館市は昨年の69.6%から下がったが、50%以上に与えられる金メダルを4年連続で獲得した。

敗れた場合は庁舎に相手自治体の旗を1週間掲揚するルール。市は6月1日まで甲斐市旗を本庁舎に掲げている。

また各地でイベントが開かれ、楽しんでもらおうと初開催。大館市実行委員会は夜の部として樹海ドームでフットサル大会とヨガ体験会を開き、地域住民が運動を楽しんだ。仕事終わりの一般参加者も多く見られ、会場は盛り上がった。

ヨガはインストラクターの田村律子さんを講師に招いて実施。屋の部に引き続き行い、参加者が心地よい汗を流した。

2016年5月27日 金曜日 北鹿新聞

主 催

男鹿市チャレンジデー実行委員会 (会長 渡部幸男)
 男鹿市教育委員会 生涯学習課
 〒 010-0595 秋田県男鹿市船川港船川字泉台 66-1
 男鹿市役所
 TEL : 0185-24-9102 FAX : 0185-24-9156

結 果

人 口 : 29,604 人 秋田県男鹿市 ●
 参加者数 : 15,021 人 VS
 参加率 : 50.7% 香川県多度津町 ○
 取得メダル : 銀

プログラム (太字 : 特に力を力を入れているプログラムと内容)

- ① 買い物ウォーキング(市内スーパー 4 店舗) 3,413 人
- ② チャレンジデー大使によるラグビー教室(脇本近隣公園グラウンド) 100 人
- ③ なまはげ健康ウォーキング(男鹿市総合運動公園球技場周辺) 79 人
- ④ 膝や腰の痛みを和らげる運動教室(男鹿市総合体育館) 53 人
 - ・ 男鹿みなと市民病院 理学療法士の方を講師にお招きし、高齢者を対象とした、膝や腰の痛みを和らげるストレッチ運動を行いました。

昨年の参加者から好評であったため今年度も開催し、自宅でも実施できる内容を指導していただきました。

【アスリート・著名人など】

伊藤 護(元ラグビー日本代表) / 秋田ノーザンブレッツ(ラグビー・クラブチーム・トッピーズリーグ所属)

実行委員会の構成団体

学校教育担当部署 / 健康づくり担当部署 / 観光担当部署 / 総務担当部署 / スポーツ推進委員協議会 / 体育協会 / スポーツ少年団 / 総合型地域スポーツクラブ / 幼稚園・保育園 / 小学校(校長会) / 中学校(校長会) / 高等学校 / 事業所・企業 / 商工会・青年会議所 / 社会福祉協議会 / 自治会・町内会 / 高齢者団体・老人クラブ / 婦人会

メディア

日の出新報

広報・周知

本市では、市広報へ PR 用チラシを折り込み周知することが最も効果のあった周知方法だと感じました。

また、今年度は市の末端まで周知がいきわたるよう、各地区の町内会長への通知による周知を行いました。効果は得られませんでした。

製作物

チラシ 15,000 枚 / ポスター 150 枚 / のぼり 106 本 / 懸垂幕 1 枚 / Tシャツ 85 枚 / ポケットティッシュ 18,000 個 / タオル 300 枚

実施効果

- ・ 年々、参加協力していただける企業等が増え、チャレンジデーの浸透と健康づくりに対する意識が高まってきたと思います。
- ・ 住民の相互交流が図られました。



なまはげ健康ウォーキング



膝や腰の痛みを和らげる運動教室



チャレンジデー大使によるラグビー教室

スポーツで元気なまちづくり!

チャレンジデー 2016

全国一斉開催 5/25(水) 午前0時▶午後9時

秋田市(2回目)
①山口県下関市(初実施)
【開催】美里市民スタジアム 7:40~
秋田市教育委員会 スポーツ振興課
☎019-866-2247

能代市(4回目)
②鹿児島県奄美市(8回目)
【開催】能代市総合体育館 9:00~
能代市教育委員会 生涯学習 スポーツ振興課
☎0185-73-3221

横手市(4回目)
③鹿児島県霧島市(3回目)
【開催】赤城総合公園グラウンドほか2カ所 9:00~
横手市まちづくり推進課 スポーツ振興課
☎0182-35-2173

大館市(4回目)
④山梨県甲斐市(7回目)
【開催】ラジオ体操 10:00~
大館市教育委員会 スポーツ振興課
スポーツ交流推進課 ☎0186-43-7148

男鹿市(5回目)
⑤青川県多度津町(18回目)
【開催】チャレンジデー大妻によるラグビー教室
【場所】日本産業公園グラウンド 16:00~
男鹿市教育委員会 生涯学習課
☎0185-24-9102

湯沢市(4回目)
⑥佐賀県神埼市(7回目)
【開催】健康文化会館 9:00~
湯沢市教育委員会 生涯学習課 スポーツ振興課
☎0183-55-8286

鹿角市(4回目)
⑦岡山県赤松市(7回目)
【開催】あおやこども館 9:00~
鹿角市教育委員会 スポーツ振興課
☎0184-30-0297

由利本荘市(4回目)
⑧兵庫県豊岡市(7回目)
【開催】チャレンジデーウオーク
【場所】文化交流センター 9:30~
由利本荘市教育委員会 スポーツ課
☎0184-32-1334

湯上市(4回目)
⑨愛知県扶桑町(3回目)
【開催】(開会式)レクリエーション体験
【場所】天王寺公民館 10:00~
湯上市教育委員会 教育課 文化スポーツ課
☎018-853-5363

大仙市(4回目)
⑩東京都小金井市(3回目)
【開催】ハッピータイム オープン大会
【場所】大倉ヒカリオ 11:00~
大仙市教育委員会 生涯学習課 スポーツ振興課
☎0187-63-1111

北秋田市(4回目)
⑪鳥取県雲南市(11回目)
⑫鹿児島県さつま市(3回目)
【開催】(オープニングイベント)ユニバーサル大会
【場所】運動センター 9:00~
北秋田市教育委員会 スポーツ振興課
☎0186-62-3800

にかほ市(10回目)
⑬北海道富良野市(6回目)
【開催】ケース&マサトにかほ体験
【場所】市民体育館 19:30~
にかほ市教育委員会 スポーツ振興課
☎0184-33-8665

仙北市(6回目)
⑭和歌山県上富田町(11回目)
【開催】市民交流グラウンドゴルフ大会
【場所】市民体育館 9:00~
仙北市教育委員会 スポーツ振興課
☎0187-43-3390

小坂町(6回目)
⑮北海道枝幸町(初実施)
【開催】(オープニングセレモニー)ノルディックウオーク
【場所】中央公園 8:00~
小坂町教育委員会 生涯学習課
☎0186-29-2069

上小阿仁村(3回目)
⑯愛知県飛島村(初実施)
【開催】(オープニングセレモニー)ラジオ体操
【場所】健康センター 9:00~
上小阿仁村教育委員会 生涯学習課
☎0186-60-9000

藤里町(3回目)
⑰青森県新郷村(5回目)
【開催】(オープニングセレモニー)ラジオ体操
【場所】健康センター 10:30~
藤里町教育委員会 生涯学習課
☎0185-79-1327

三種町(4回目)
⑱広島県北広島町(4回目)
【開催】チャレンジラン
【場所】市民体育館 9:00~
三種町教育委員会
☎0185-87-2222

八幡町(3回目)
⑲北海道新得町(6回目)
【開催】全道ラジオ体操タイム
【場所】市民体育館 7:10~
八幡町教育委員会 生涯学習課
スポーツ振興課 ☎0185-77-3700

五城目町(9回目)
⑳岩手県軽米町(11回目)
【開催】グラウンドゴルフ大会
【場所】市民体育館 9:00~
五城目町教育委員会 生涯学習課
☎018-852-4411

八戸市(3回目)
㉑北海道厚別町(5回目)
【開催】ウオーキング教室
【場所】市民体育館 9:00~
八戸市教育委員会 生涯学習課
☎018-975-5812

井川町(6回目)
㉒鹿児島県和泊町(13回目)
【開催】井川小学校ランニング
【場所】井川小学校グラウンド 10:25~
井川町教育委員会
☎018-874-3668

大湯村(2回目)
㉓宮崎県諸塚村(12回目)
【開催】全村一斉ラジオ体操
【場所】大湯村商店街 6:30~
大湯村教育委員会 生涯学習課
村民体育館 ☎0185-45-2269

美郷町(4回目)
㉔広島県竹原市(8回目)
【開催】(オープニングセレモニー)「チャレンジキックオフセミナー」
【場所】美郷総合体育館 18:45~
美郷町教育委員会 生涯学習課
スポーツ振興課 ☎0187-94-4916

羽後町(5回目)
㉕神奈川県松田町(3回目)
【開催】夜間対抗レース五入れ競争
【場所】市民体育館 12:00~
羽後町教育委員会
☎0183-62-1323

東成瀬村(9回目)
㉖長野県南相木村(4回目)
【開催】(オープニングセレモニー)みんなで作る
【場所】東成瀬村多目的グラウンド 9:30~
東成瀬村教育委員会
☎0182-47-3415

**昨年につき、秋田県は！
全25市町村全てが参加します！**



秋田県知事 佐竹 敬久

「チャレンジデー2016」の開催を心からお喜び申し上げます。チャレンジデーは、対戦自治体と参加率を競うことはもちろん、地域住民が一体となって運動やスポーツに取り組み、日常的に運動するきっかけにいただければ幸いです。25日は、家族や友人、職場の仲間と一緒に、運動やスポーツを楽しみましょう！

チャレンジデーってなに？
毎年5月の最終水曜日に、人口規模に近い自治体同士が、午前0時から午後9時までの間に、15分以上継続して運動やスポーツをした住民の「参加率(%)」を競うスポーツイベントです。

どんなことをすればいいの？
自宅や地域、職場、学校などで、スポーツはもちろん、15分以上継続して体を動かすものなら何でもOKです！例えば、散歩、ストレッチ、ラジオ体操のほか、徒歩や自転車による通勤・通学など、どんなことでもOKです！

参加し、後の報告はどすもの？
自主申告が原則です。
チャレンジデー当日、運動やスポーツをした後に、次の事項について、各市町村の集計センターに報告してください。

- ①氏名(団体名) ②どのような運動・スポーツをしたのか
- ③参加人数 ④年代(団体は不要) ※任意

★職場や学校、自治会、サークルなどで参加した場合は、代表者が参加人数をまとめて報告してください。
★運動やスポーツはいつでも参加できますが、報告は一人一回です。

イベント内容や、参加報告方法等は各市町村へお問い合わせください。あなたの報告が勝利につながります！

2016年5月22日 日曜日 秋田魁新報

99
新聞

主 催

潟上市チャレンジデー実行委員会 (会長 石川光男)

潟上市教育委員会 教育部 文化スポーツ課

〒010-0201 秋田県潟上市天王字棒沼台 226-1

潟上市役所

TEL : 018-853-5363 FAX : 018-853-5277

結 果

人 口 : 33,730 人

参加者数 : 20,621 人

参加率 : 61.1%

取得メダル : 金

秋田県潟上市 ○

VS

愛知県扶桑町 ●

プログラム (太字 : 特に力を力を入れているプログラムと内容)

①買物ウォーキング 5,825 人

・市内都市公園や、道の駅、大型ショッピングセンターに協力を依頼し、来訪者・来客者を対象に買物をしながらのウォーキングにより、チャレンジデーに参加したという意図の署名をお願いするプログラムです。

②スポーツクラブイベント 354 人

③グラウンド・ゴルフ交流会 274 人

④レクリエーション体操、ペタンク講習 175 人

実行委員会の構成団体

スポーツ担当部署／学校教育担当部署／スポーツ推進委員協議会／体育協会／スポーツ少年団／総合型地域スポーツクラブ／小学校(校長会)／中学校(校長会)／高等学校／特別支援学校／事業所・企業／商工会・青年会議所／社会福祉協議会／自治会・町内会／高齢者団体・老人クラブ／婦人会

メディア

湖畔時報／日の出新報

広報・周知

PR 用にチラシ(表面はチラシ、裏面は報告用紙)とクリアファイルを作成し、全戸配布しました。

公共施設だけでなく、地域の集会所等へもチャレンジデーの「のぼり」を設置し、イベントの広報をいたしました。これにより自治会等に広くアピールすることができ、その結果、自治会等による自主イベントの増加につながったものと考えております。

市の防災無線、有線放送を通じて全市に広報をいたしました。

製作物

チラシ 14,000 枚／ポスター 250 枚／大型横断幕 1 枚／のぼり 400 本／懸垂幕 1 枚／Tシャツ 230 枚／クリアファイル 14,000 枚

実施効果

各種団体による自主イベントが増加しており、チャレンジデーが

浸透してきているのを感じています。また、自主イベントの企画等を通じて地域コミュニティの形成と健康づくりに対する意識の向上が図られました。

チャレンジデーを通じて市内にある体育施設や、スポーツ団体の活動の周知が図られました。

総合型スポーツクラブによる事業協力により、クラブ活動が周知され、市民の興味が高まっております。

担当者から

今年も市内各学校、自治会、老人クラブ、婦人会、事業所、スポーツ団体等、多くの団体の方から自主イベントを実施していただき、団体間の交流の促進、健康づくりにおける意識向上が図られました。参加団体数も年々増加してきており、チャレンジデーが地域に浸透してきていると感じております。

チャレンジデー当日は、市全体が活気に溢れた 1 日となりました。これを機会として今後も地域の交流が図られ、継続的な運動・スポーツの習慣化へとつながればと思います。



レクリエーション体操



買物ウォーキング

住民総参加型のスポーツイベント

チャレンジデー 2016

— 各市町村健闘 —

潟上市オープンングセレモニーに約150人参加



◆潟上市チャレンジデー 2016 天王総合体育館で行われたレクリエーション体操実技。市民約150人参加

公益財団法人笹川スポーツ二十五日、全国二八自治年五月の最終水曜日に全ツ財団主催による「チャレンジ参加のもと実施された。国で一斉に行われている住民参加型のスポーツイベント。人口規模のほぼ同じ自治体同士が午前0時から午後九時までの間に十五分以上継続して何らかの運動やスポーツをした住民の参加率を競い合う。今年も参加の自治体で様々な運動やスポーツへの取り組みが行われ、住民らは運動、スポーツに積極的に参加した。

このうち潟上市では午前十時から天王総合体育館で「潟上市チャレンジデー2016 オープニングセレモニー」が行われた。実行委員会主催事業。市民約一五〇人が参加した。はじめに実行委員会幹事長の市教育長肥田野耕二氏があいさつ。続いてチャレンジデー大使 國学院大学

ラグビー部 監督・伊藤護氏(男鹿市出身)が激励のあいさつを述べた。次に講師にレクリエーションインストラクター 赤川薫氏(横手市)を迎えての「レクリエーション体操実技」が行われた。参加の市民らはストレッチのあと、頭と体の体操に挑戦。このほか、市スポーツ推進員指導による「ベタンク講習」も行われ、市民多数参加した。「ベタンク」は来年九月、秋田県で開催の「ねんりんピック秋田2017」において「スポーツ交流大会」種目の一つとして潟上市追分地区公園多目的広場を会場に開催される。

レクリエーション体操実技・ベタンク講習は午後一時から昭和体育館で、午後三時から飯田川体育館でも開催された。

尚、潟上市のチャレンジデー参加率は61・1%、五城目町の参加率は63・7%、八郎潟町の参加率は73・4%、井川町の参加率は76・6%、大潟村の参加率は61・1%となった。

2016年6月2日 木曜日 湖畔時報



総合型スポーツクラブでの卓球

主 催

鹿角市チャレンジデー実行委員会 (会長 児玉 一)
鹿角市教育委員会 スポーツ振興課
〒 018-5292 秋田県鹿角市花輪字荒田 4-1
TEL : 0186-30-0297 FAX : 0186-30-1140

結 果

人 口 : 32,672 人 秋田県鹿角市 ○
参加者数 : 22,926 人 VS
参加率 : 70.2% 岡山県赤磐市 ●
取得メダル : 金

プログラム (太字 : 特に力を力を入れているプログラムと内容)

- ①ラジオ体操&ストレッチ(鹿角市役所) 284 人
 - ②オープニングイベント みんなでラジオ体操(あおぞらこども園) 200 人
 - ・毎年オープニングイベントとして、学校等を会場に、保護者や市民の方にも参加を呼びかけ、ラジオ体操を実施しています。今年は、昨年オープンした、あおぞらこども園を会場に、鹿角市スポーツ推進委員の皆さんを講師に迎え、ラジオ体操を行いました。園児やその保護者をはじめ、地域住民、近隣の平元小学校、花輪第二中学校の生徒も集まり、200 人の参加がありました。
 - ③サッカー教室(鹿角市記念スポーツセンター) 70 人
 - ④尾去沢市民センター グラウンド・ゴルフ(鹿角市ゲートボール場) 51 人
 - ⑤花輪地区グラウンド・ゴルフ大会(鹿角アメニティパーク) 48 人
- 【アスリート・著名人など】
浅利純子(1993 年世界陸上選手権大会優勝(マラソン) 1996 年アトランタオリンピック出場(マラソン))

実行委員会の構成団体

スポーツ担当部署/学校教育担当部署/スポーツ推進委員協議会/体育協会/スポーツ少年団/総合型地域スポーツクラブ/小学校(校長会)/中学校(校長会)/高齢者団体・老人クラブ/旅館ホテル環境衛生同業組合/地域づくり協議会

メディア

鹿角きりたんぼ FM / 北鹿新聞 / 米代新報

広報・周知

例年に引き続き、ウェブサイトを通じた PR を行ったほか、自治会を通じて全世帯へのチラシ兼参加報告用紙を配布し、参加を呼びかけました。今年は新たに、対戦市の紹介を兼ねて市広報紙に特集記事を掲載したほか、参加者の中から抽選で対戦市の特産品をプレゼントする企画を設けたところ、市民の関心が高まり、参加率が高まったと考えています。

製作物

チラシ 18,000 枚 / ポスター 250 枚 / 大型横断幕 2 枚 / のぼり 160 本 / Tシャツ 50 枚 / ポケットティッシュ 1,000 個 / タオル 800 個

実施効果

2 年ぶりに目標としていた参加率 70% を達成することができました。対戦市である赤磐市の紹介をすることでチャレンジデーの PR にもつながると考え、市の広報誌でも紹介したほか、赤磐市の取組を参考に、抽選で対戦市の特産品をプレゼントするという企画を行いました。その結果、チャレンジデーに対する市民の関心が高まり、コミュニティの活性化につながったと考えています。

担当者から

昨年までの反省点として、対戦相手についての PR が足りなかったと感じていたため、今年は広報誌を活用して周知を図りました。チャレンジデーが対戦相手を知るよい機会になったと同時に、市民が団結して取り組めたイベントになったと感じています。今後は、対戦自治体との交流がさらに発展できるような方法を検討したいと考えています。



市長も一緒にラジオ体操



スポーツ推進委員とたんぼ小町ちゃんも活躍!

チャレンジデー
鹿角市長 赤磐市(剛)とエール交換

「お互いに」健闘誓う

25日に全国で行われる住民参加型のスポーツイベント「チャレンジデー2016」を前に、鹿角市の児玉一市長が13日、対戦相手の岡山県赤磐市の友實武則市長と電話でエールを交換し、「お互いに頑張りますよ」と健闘を誓った。

鹿角市は今年で4回目の参加。昨年は参加率68%で最優秀県南市(58.4%)に勝利した。赤磐市は参加7回目、4連勝中。昨年の参加率は48.4%。岡山市の北西に位置し人

口は4万4590人(4月1日現在)。児玉市長はコモッセ内の多目的スタジアムからエールを交換。「参加率は70%が目標」とし、鹿角市の「スキーと駅伝のまち」や指80、60周年を迎えた十和田八幡堂国立公園、きりたんぼ発祥の地、大日堂舞臺や大湯環状列石、花輪はやしなを紹介した。友實市長は「今まで一番厳しい対戦相手。70%超えを」

赤磐市長と電話、エールを交わす児玉市長(コモッセ)

目標にしている」とした上で、女子バレーボールVプレミアリーグ所属「岡山シーガルズ」の練習拠点があることや、昨年の市制10周年記念事業として松竹撮影所等と製作したシリーズ映画「種まく旅人の3作目が今秋上映されることなどをPRした。

赤磐市は例年、対戦市の特産品を参加者にプレゼントしており、鹿角市でも今年初めて行う計画。両市がモモの生産地であることから「一緒に海外戦略が展開できたら面白い」と話が盛り上がり、対戦をきっかけに交流を深めていくことを確認した。

2016年5月14日 土曜日 北鹿新聞



フォークダンスを楽しむ市民たち
(鹿角市コモッセ)



ロープジャンプに挑戦する小坂中生
(小坂町セパーム)

チャレンジデー
鹿角 市民、町民が挑戦

仲間と楽しくスポーツ

人口が同規模の自治体の間で、15分以上の運動やスポーツに取り組んだ住民の参加率を競う全国的なイベント「チャレンジデー2016」が25日、鹿角市と小坂町でも行われ、住民たちは自ら運動したり、企画されたスポーツ教室などに参加したりして、楽しく体を動かした。

市は4度目、町は6度目の参加。両市町とも一定の参加率を超えた場合、与えられる「金メダル」の獲得を目指し、市は岡山県赤磐市、町は北海道枝幸町と対戦した。

市ではあまのついでにも園児や見玉一市長をはじめ、園児や周辺の小中学生ら約200人が参加してオープンイベントが行われ、全員でラジオ体操に汗を流した。

一方、町では中央公園からセパームに会場を移して、

「金メダル」の獲得を目指し、市は岡山県赤磐市、町は北海道枝幸町と対戦した。市ではあまのついでにも園児や見玉一市長をはじめ、園児や周辺の小中学生ら約200人が参加してオープンイベントが行われ、全員でラジオ体操に汗を流した。

一方、町では中央公園からセパームに会場を移して、

「チャレンジデー」が今年初の開催となる。市は岡山県赤磐市、町は北海道枝幸町と対戦した。市ではあまのついでにも園児や見玉一市長をはじめ、園児や周辺の小中学生ら約200人が参加してオープンイベントが行われ、全員でラジオ体操に汗を流した。

一方、町では中央公園からセパームに会場を移して、

2016年5月26日 木曜日 北鹿新聞



ファイナルイベント・みんなで卓球

主 催

上小阿仁村チャレンジデー実行委員会 (会長 小林悦次)
 教育委員会生涯学習班
 〒 018-4421 秋田県北秋田郡上小阿仁村小沢田字向川原 60-3
 TEL : 0186-60-9000 FAX : 0186-77-3223

結 果

人 口 : 2,521 人 秋田県上小阿仁村 ●
 参加者数 : 1,670 人 VS
 参加率 : 66.2% 愛知県飛島村 ○
 取得メダル : 金

プログラム (太字 : 特に力を力を入れているプログラムと内容)

- ①クリーンアップウォーク(各集落) 300 人
- ②小中学校チャレンジデーウォーキング(小中学校) 100 人
- ③かみこあにスポーツ少年団育成会レクリエーション交流会(トレーニングセンター) 70 人
- ④保育園児とお散歩(大林集落) 50 人
 - ・ 保育園児が地域を訪問し、地区の住民のみなさまと散歩することにより、チャレンジデーに参加しました。地域住民と地域の子どもたちが触れあう良い時間となりました。
- ⑤道の駅でチャレンジデー(道の駅) 30 人

実行委員会の構成団体

スポーツ担当部署 / 学校教育担当部署 / 健康づくり担当部署 / 福祉担当部署 / 観光担当部署 / 総務担当部署 / スポーツ推進委員協議会 / 体育協会 / スポーツ少年団 / 総合型地域スポーツクラブ / 幼稚園・保育園 / 小学校(校長会) / 中学校(校長会) / 事業所・企業 / 商工会・青年会議所 / 社会福祉協議会 / 自治会・町内会 / 高齢者団体・老人クラブ / 婦人会

メディア

秋北新聞 / 北鹿新聞 / 秋田魁新報

広報・周知

村内各世帯に設置されている IP 電話(愛称:こあに電話)を利用し、チャレンジデー開催や参加を呼びかけました。

また、チャレンジデー前日及び当日に全集落を広報車が巡回し、参加を呼びかけております。

製作物

チラシ 2,000 枚 / ポスター 150 枚 / 大型横断幕 1 枚 / のぼり 30 本 / Tシャツ 50 枚 / ポケットティッシュ 2,000 個 / タオル 250 枚

実施効果

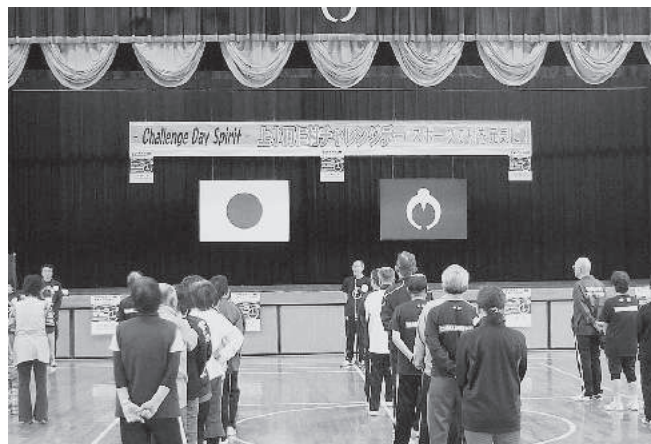
3 回目の挑戦となり、住民の認知度は少しずつ高まってきているように感じました。昨年のチャレンジデーをきっかけにスタートした、防災無線でのラジオ体操放送は現在まで毎日続いており、

住民の健康増進に対する意識づくりを高めております。

担当者から

チャレンジデー実施 3 回目にして、ようやく目標としていた 65% を達成することができました。これも委員としてご協力していただいた方々、地域の中で率先して動いて下さった方々、そして当日にチャレンジデーに参加していただいた多くの皆様による結果だと思います。

今後も村民のみなさまにはスポーツ等に積極的に取り組んでいただき、来年も元気に村民一丸となって挑戦したいです。



オープニングセレモニー



保育園児とお散歩



スポ少レク交流会

チャレンジ 電話でエール交換

上小阿仁 愛知県飛鳥村と対戦

小林村長



電話でエールを交換する小林村長

25日の「チャレンジデー」に3度目の参加となる上小阿仁村の小林悦次村長は11日、対戦相手の愛知県飛鳥村（とびしまむら）の久野時男村長と電話でエール交換を行った。

県の西部で伊勢湾に面する飛鳥村は人口4575人。北部の田圃地帯と名古屋港の臨海工業地帯が共存し、農業ではコメ

電話によるエール交換で両村長は互いの村の特徴や特産などを紹介。小林村長は、秋田杉の村であり、村有林を活用していきたいとして「ぜひ上小阿仁の杉を使って建物を作ってほしい」とPRした。

企業が多く、財政的に「日本一、豊かな村だと聞いている」との間に久野村長は「それも最近

になっている」と。これまで一生懸命、努力してきた。みんな苦しい時代を乗り越えながらやってきている」と述べた。

小林村長は、食用ほおずきやコハゼ、ズッキーニなど村特産品を挙げ、「これらの品物の交換もできればありがたい」とし、久野村長も「これを機会に仲良くしていきたい」と述べ、チャレンジデーでの互いの健闘を誓い合った。

2016年5月12日 木曜日 秋北新聞

上小阿仁村と愛知県飛鳥村

チャレンジデー健闘誓う



電話でエール交換する小林村長

上小阿仁村の小林悦次村長 離れた村同士が対戦するのは11日、住民のスポーツ参加率を競うチャレンジデー（25日）で対戦する愛知県飛鳥村の久野時男村長と電話でエール交換し、互いの健闘を誓い合った。

小林村長は村役場で電話し、「村民に健康について考えてもらう機会にしたい。お得手と初勝利を目指す。飛鳥村手柔らかにお願いしたい」とは初参加で、人口約4600人。久野村長は「速く人。」

（伊藤正孝）

離れた村同士が対戦するのは11日、住民のスポーツ参加率を競うチャレンジデー（25日）で対戦する愛知県飛鳥村の久野時男村長と電話でエール交換し、互いの健闘を誓い合った。

小林村長は村役場で電話し、「村民に健康について考えてもらう機会にしたい。お得手と初勝利を目指す。飛鳥村手柔らかにお願いしたい」とは初参加で、人口約4600人。久野村長は「速く人。」

（伊藤正孝）

2016年5月13日 金曜日 秋田魁新報

主 催

北秋田市チャレンジデー実行委員会 (実行委員長 津谷永光)
北秋田市教育委員会 スポーツ振興課
〒018-3331 秋田県北秋田市鷹巣字東中岱 11
鷹巣体育館内

TEL : 0186-62-3800 FAX : 0186-62-3801

結 果

人 口 : 34,093 人 秋田県北秋田市 ○●
参加者数 : 18,972 人 VS
参加率 : 55.6% 島根県雲南市 ●
取得メダル : 金 鹿児島県南さつま市 ○

プログラム (太字 : 特に力を力を入れているプログラムと内容)

- ①買い物ウォーキング(市内大型スーパー 3 店舗) 1,203 人
- ②北秋田市鷹巣地区バスケットボール大会(北秋田市鷹巣体育館) 250 人
- ③運動教室(水泳、水中運動、ストレッチ等) (北秋田市民プール) 185 人
- ④みんなでラジオ体操(市内全域) 150 人
- ⑤北秋田市長杯ユニカール大会(北秋田市鷹巣体育館) 100 人
 - ・例年開催されている北秋田市長杯ユニカール大会をチャレンジデーオープニングイベントとして開催しました。北秋田市長による始投式により開会され、市内各地区ごとのチーム編成での対戦により、連帯感が生まれ、また他地区の参加者との親睦と交流が図られました。併せて、初心者を対象として教室も開催し競技人口の拡大も図りました。

実行委員会の構成団体

スポーツ担当部署／健康づくり担当部署／福祉担当部署／総務担当部署／市民生活担当部署／スポーツ推進委員協議会／体育協会／スポーツ少年団／商工会・青年会議所／自治会・町内会／高齢者団体・老人クラブ／婦人会

メディア

秋北新聞／北鹿新聞／秋田魁新報

広報・周知

市内中心商店街に「のぼり」を集中して設置したことにより、各集落からも「のぼり」を設置して欲しい旨の問い合わせがありました。また、市内の企業、学校等に直接足を運んで PR 活動したことにより細かな周知が図られ、団体としての取り組みが増えました。数日前から市広報無線も使用しました。

製作物

チラシ 35,000 枚／ポスター 350 枚／大型横断幕 1 枚／横断幕 (その他) 10 枚／のぼり 250 本／Tシャツ 170 枚／ポケットティッシュ 3,000 個

実施効果

今回で 4 回目の実施となり、住民の方にも周知拡大がなされてきています。どのようにすれば参加率が向上するのか、理解が広がってきていると思われることから対戦市との勝敗や参加率について多数の問い合わせがありました。また、チャレンジデーでスポーツ教室等の体験参加により継続して参加する方が増えているようです。

担当者から

年々、自治会・町内会による自主的な企画実施が多く見られるようになりました。地域による声かけが行われ地域コミュニティが活性化されているものと思います。

大型スーパーで買い物とウォーキングをかけたイベントを開催しましたが、参加報告の記名に抵抗のある方が多く集めるのに苦労しました。

「チャレンジデーって何？」という人がまだまだ多く、特に 20 代への周知をどのように行えばよいのか考えたいと思います。



ユニカール大会



買い物ウォーキング



チャレンジデー

地域一体で取り組み

北秋田市
実行委 目標は参加率50%

北秋田市のチャレンジデー実行委員会(委員長・津谷永光市長)が、市役所で開かれ、地域挙げて取り組むことを確認した。今年5月25日に開かれる。対戦相手は雲南(鳥根町)と南さつま市(鹿児島県)の2市。参加率の目標は、金メダルが獲得できる50%に設定した。

北秋田市のチャレンジデー実行委員会(市役所)

金のメーンボールに1週間掲揚される。市は25年から参加し、4回目。昨年は大興件業(きつ)市と対戦した。2万381人が参加し、参加率は58・71%と50%を突破。勝利するともに、初の金メダルを獲得した。今年3市の競争となる。雲南市は11回目の参加。出雲神話の舞台として知られ、人口は4万451人。南さつま市は3回目の参加。薩摩半島の南西部に位置し、人口は3万5956人。両市とも北秋田市の人口3万4093人を若干上回っている。

実行委員会は4地区の自治会代表、体協、商工会、老人クラブ、婦人会、行政で構成。委員長の津谷市長は「昨年は参加率が50%を超え、金メダルを獲得した。今年も地域一体となって取り組んでいきたい」と協力を呼び掛けた。

「今年もチャレンジ、心と体の健康づくりにテーマを参加率50%を目標に取り組み、こと確認。ダンス、ボクシング、自主会、企業団体に参加を呼び掛けている。

2016年4月7日 木曜日
北鹿新聞



ダンスの元気に体を動かす園児ら(1コマ)

北秋田

ダンスやバレーに汗

チャレンジデー 市民、村民が体動かす

住民の運動参加率を競う「チャレンジデー2016」が25日、北秋田や上小阿仁村で行われた。体育施設が無料開放され、住民がダンスを思い思いの競技で元気に体を動かした。

あらかじめ決まっている対に運動着姿の住民が朝から戦自給体と午前0時から午後続々と登場した。市民ふれあいラサ「コムコム」には9時までの間、15分以上運動した住民の参加率を競う。北定こも園しやうむ(小塚)秋田は参加4回目、鹿児島県南さつま市と鳥根町雲南市と探検員、保育士らがダンスと「ともえ」となった。3市目的で訪れた。多目的ホールで人気テレビ番組「動物戦隊ジュウオウジャー」のエンディング曲を合わせ、振り付け無料開放された公民館(2)通りに続々と参加者が増え、跳

3回目の上小阿仁は愛知県飛鳥村と対戦した。健康増進トレーニングセンターでは卓球や周遊でのウォーキングなどが行われた。8人制バレーボールのコートでは高師の男女が「フック、ツイ、スリー」を声掛け合いながら、軟らかいボールをラリーし合っていた。ミスが出ても笑い飛ばし、年齢や身体能力に応じたプレーを楽しんだ。



「それ」と掛け声を上げてバレーボールを楽しむお年寄りたち(上小阿仁村健康増進トレーニングセンター)

2016年5月26日 木曜日 北鹿新聞



バスケットボール大会

主 催

小坂町チャレンジデー実行委員会 (実行委員長 細越 満)
小坂町教育委員会 学習振興班
〒 017-0201 秋田県鹿角郡小坂町小坂字砂森 7-1
小坂町交流センター内
TEL : 0186-29-2069 FAX : 0186-29-4436

結 果

人 口 : 5,480 人 秋田県小坂町 ○
参加者数 : 2,602 人 VS
参加率 : 47.5% 北海道枝幸町 ●
取得メダル : 銀

プログラム (太字 : 特に力を力を入れているプログラムと内容)

- ① オープニングセレモニー(ラジオ体操・ウォーキング) (小坂町交流センター セパーム) 450 人
- ② 小坂高校ラジオ体操・よさこい演舞(小坂高等学校) 180 人
- ③ **ロープ・ジャンプ・X**(小坂町交流センター セパーム) 120 人
・ 中学校の体育祭で長縄跳びを行っていることから、今年も全国共通イベントに中学生が参加しました。今回で 3 回目の実施となります。全体的に昨年の記録を超えることができ、クラス全員での一体感と達成感を創出することができました。
- ④ パークゴルフコンペ(小坂町パークゴルフ場) 70 人
- ⑤ 8 人制バレーボール体験(小坂町向陽体育館) 30 人

実行委員会の構成団体

スポーツ担当部署 / 学校教育担当部署 / 観光担当部署 / スポーツ推進委員協議会 / 体育協会 / 総合型地域スポーツクラブ / 高齢者団体・老人クラブ

メディア

北鹿新聞 / 米代新報

広報・周知

実施のチラシを全戸配布し、参加啓発に取り組みました。また、ポスターを企業にも配布しながら協力を要請し、町をあげての取り組みへと繋げていきました。6 回目の参加で取り組みがかなり浸透しているように感じ、町の大切なイベントになってきていると思います。

製作物

チラシ 2,200 枚 / ポスター 70 枚 / 大型横断幕 1 枚 / のぼり 60 本 / Tシャツ 40 枚 / フェイスタオル 250 枚

実施効果

チャレンジデーの取り組みが浸透してきたことにより、このイベントが町民の健康づくりや運動をするきっかけになってきています。また、対戦相手との勝負を楽しんでいる町民も見受けられま

した。健康増進と他地域との競争の二つの意味でも、町をあげて取り組めたのではないかと思います。

担当者から

今年はチャレンジデー当日が雨だったこともあり、参加率が昨年より大幅に下がってしまいました。天候が悪いときにもより多くの町民の方々に参加いただく工夫が必要だと感じました。



8 人制バレーボール



よさこい演舞



ロープ・ジャンプ・X

チャレンジデー

小坂町 実行委
枝幸町 (北海道) と対戦

目標は参加61%で金



本年度のチャレンジデーについて話し合った
実行委（セバーム）

人口規模が近い全国の自治体と対戦し、運動した住民の参加率を競うチャレンジデーの第1回小坂町実行委員会が20日、町セバームで開かれ、人口規模と参加率によって授与される2年連続の「金メダル」の獲得を目指し、参加率は61%（参加者3311人）を目標に設定した。6度目の挑戦となる今回の対戦相手は初参加の北海道枝幸町。

チャレンジデーは、毎年5月の最終水曜日に開催されている全国的なスポーツイベント。本年度は25日。

町は前年度、北海道本別町と対戦し、参加率62%で金メダルを獲得したが、本別町の参加率は67・1%で対戦には

負けている。

実行委員長の小坂満町長は「今年も目標に向かって、町民全員で運動し、楽しく過ごしたい」とあいさつした。

本年度も町民の運動、参加を促すため、さまざまなイベントを計画した。当日の午前8時から中央公園でオープニングセレモニーに続き、ラジオ体操やウォーキング、ノルディックウォークを行う。

同9時からは陸上競技場で小坂中生によるロープジャンプ、向陽体育館で8人制バレーボール体験、みんなの運動公園でパークゴルフコンペ、午後1時からは向陽体育館でユニカール・ベタンク体験、テニスコートでソフトテニス体験など、住民が気軽に参加できる多彩なイベントが行われる。夕方からはセバームが無料で開放される。

対戦相手の枝幸町とのエール交換は、27日に予定している。

2016年4月22日 金曜日 北鹿新聞

主 催

五城目町チャレンジデー実行委員会 (会長 渡邊彦兵衛)
 五城目町教育委員会 生涯学習課
 〒 018-1723 秋田県南秋田郡五城目町上樋口字堂社 75
 TEL : 018-852-4411 FAX : 018-852-4414

結 果

人 口 : 9,970 人 秋田県五城目町 ○
 参加者数 : 6,354 人 VS
 参加率 : 63.7% 岩手県軽米町 ●
 取得メダル : 金

プログラム (太字 : 特に力を力を入れているプログラムと内容)

- ①グラウンド・ゴルフ大会(芝生広場)
- ②買い物ウォーク(商業施設)
- ③ラジオ体操とウォーキング(町内全域)
 - ・町内会よりご協力いただき、早朝よりラジオ体操とウォーキングを実施。

実行委員会の構成団体

スポーツ担当部署／学校教育担当部署／スポーツ推進委員協議会／体育協会／総合型地域スポーツクラブ／幼稚園・保育園／小学校(校長会)／中学校(校長会)／事業所・企業／社会福祉協議会／自治会・町内会／婦人会

製 作 物

チラシ4,600枚／ポスター200枚／大型横断幕1枚／横断幕(その他)4枚／のぼり50本／Tシャツ50枚／ポケットティッシュ2,000個／シャープペンシル900本

実施効果

自主的にスポーツに取り組んでくれるようになりました。健康を意識した活動が増えてきました。

担当者から

人口減少により、カテゴリーが変わりました。ハードルは高くなりましたが、町が一体となって取り組み、2年連続の金メダルと勝利を収めることができました。



地元キャラのだまこマンとだまこちゃんと一緒に！



五城目高校の生徒によるロープ・ジャンプ・X



太極拳